

みのかも文化の森 年報

Vol.10

2009 年度

「みのかも文化の森」はミュージアムと教育センターの機能を合わせもつ新しいかたちの施設として2000年10月にオープンしました。次の4つの理念のもと地域の教育文化活動の拠点になることをめざしています。

①自然との共存

森のたたずまいを「体感」できる場でありたいと考えています。人が自然から学ぶことの大きさ、得られるものの大きさをあらためて考えてみたいと思います。

②学校教育との連携

ここには地域の多様な資料が収集展示され人的資源もそなえられています。素材や条件を生かし特色ある様々な体験学習や深まりのある学習をおこなっていきます。

③市民参画

自由な発想と自発的な気持ちで市民のみなさんは活動に参画します。協働しておこなう新しい取り組みや企画は館の新しい力となって次へつながっていきます。

④地域づくり

いわゆる「博物館」や「教育・文化」といった限られた枠にとらわれず、生活の一部として利用され、様々な人々の交流の場となることをめざしています。

目 次

ミュージアム カレンダー	3
展覧会事業	
企画展	
「逍遙生誕150年記念」展	4
「なつやすみ歴史探検-考古学にふれる-」展	7
Calling 木藤純子展	10
「ていねいな暮らしのあったころ-佐野一彦の撮った伊深の里山-」展	12
すきなものをすきなように 坂井範一展	15
資料紹介展(収蔵品展)	18
「芸術と自然」一時間をめぐって	18
冬の収蔵品展	18
蚕とまゆ展09	19
暮ラシカル道具展10	19
その他の展示活動	19
第54回美濃加茂市美術展	19
各種講座・ミュージアムイベント	
催し物・コンサート等	20
定期講座・行事	20
たんけんたい	21
ふらっとみゅーじあむ	21
フォレスタくらぶ	21
アートな1日講座	22
四季を食べる講座	22
暮らし体験講座	23
夏休み子ども講座	23
学校活用	
学校活用状況	24
博学連携フォーラム	24
全学習内容	25
収集・保存・整理・調査・その他	
資料収集、整理、活用	28
各種資料の収集・公開状況	31
資料保存	31
博物館実習	32
刊行物	32
報道関係に掲載・紹介された状況	32
施設の利用状況	33
組織・構成・その他	34
森のアンケート集計	35
施設概要・利用案内	37
みのかも文化の森の沿革	39

ミュージアム カレンダー

Schedule

● 祝日 □ 休館日 ▲ 四季を食べる講座 ▲ アートな1日講座 ▲ 暮らし体験講座

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
4 大矢嶺嶺展 (~4/26) ■ 睡のほり立て (~5/6)▲																													
5 野外研究 ▲ 坪内逍遙 人生もようすてろく ▲ 山菜おこわ ▲ お茶摘み																													
6 坪内逍遙生誕 150 年記念展 (~6/7) 野内研究 (~6/7) 蚕とまゆ展 09 (~7/26) ▲ 林葉餅とともどろふ ▲ 陶芸																													
7 蚕とまゆ展 09 (~7/26) ▲ 真綿づくり ▲ 日食を観察しよう① ▲ ミュウガ寿司																													
8 「なつやすみ歴史探検 - 考古学にふれる -」展 (~9/6) ▲ 夏を染める ▲ 葎のおやつ ▲ みのづくり ▲ スケルトン折り紙 ▲ ジャズ ▲ 植物標本をつくろう② ▲ 大昔マークバック ▲ テリブンモンスターを探せ																													
9 「なつやすみ歴史探検」展 (~9/6) 科学作品展 ▲ 手打ちうどん ▲ 早稲田大学学生野外劇																													

*詳しくは、別刷のミュージアムニュースやホームページをご覧ください。 *都合により一部変更することがあります。

▲「みのかも自然図鑑」講座 ▲ 森のコンサート ▲ 夏休み子ども講座 ▲ ふらっとみゅーじあむ ▲ まゆの家年中行事 ▲ その他

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10 木藤純子展 (~10/18) ▲ わが家の常備菜 ▲ 秋のキノコ観察会 ▲ 七輪を囲む日 ▲ まゆの家まつり ▲ 版画で年賀状																														
11 第54回美濃加茂市美術展 ▲ へぼご飯 ▲ お菓子でつくるクリスマス ▲ ビデオ上映会																														
12 子ども展 ▲ おせち料理 ▲ みのかもで見られる冬の鳥 ▲ 高島純さんとクリスマスグラフィック ▲ 第13回朗読フェスティバル ▲ 門松かざり (~1/11) ▲ クラシック																														
1 「ていねいな暮らしのあった頃 - 佐野一彦の描った伊深の里山 -」展 (~1/24) 坂井範一展 (~3/22) ▲ 手描み春の七草 ▲ 特別講座「山里のふだんの料理」 坂井範一展関連講座▲																														
2 坂井範一展 (~3/22) 暮らしカルド具展 10 (~3/22) ▲ 手作りみそとみそ料理 ▲ まゆびなづくり ▲ ひなかざり (~3/3) ▲ 春の祭のごちそう ▲ ガッディングコルク																														
3 坂井範一展 (~3/22) 暮らしカルド具展 10 (~3/22) ▲ 陶芸																														

2009.4 - 2010.3

※このミュージアムカレンダーは当初のデータを掲載しているため、一部変更された催し物もそのまま掲載しております。

坪内逍遙生誕 150 年記念「山椿花いとなつかしも」展

会 期 2009 年 4 月 18 日（土）～6 月 7 日（日）〈42 日間〉
会 場 企画展示室
展示資料 79 件
観 覧 料 150 円（100 円）高校生以下無料。
（ ）内はかるちすとくらぶ及び団体料金
入場者数 754 人



内 容

坪内逍遙は、現在の美濃加茂市立太田小学校付近の旧尾張藩太田代官所の役宅で生まれ、幼少期の十年間をこの地で過ごしました。2009 年は、坪内逍遙の生誕 150 年の年です。

逍遙が残した業績は、今なお多大な影響を与え続けていますが、幼少期の原体験を美濃加茂の地で過ごしたことは紛れもない事実です。幕末の動乱期でさえも、家族の深い愛情に包まれて草双紙、百人一首、木の実ふりなどに親しみながら文学的素養を身につけました。逍遙の原点にあるものは、多感な少年期を過ごしたふるさとにあるのかもしれませんが。演劇博物館に掲げられた看板「世界はすべて劇場である」のように、逍遙は人生という舞台の上で演じ続けた一人の役者そのもののよう思われます。

本展覧会は、逍遙生誕 150 年を記念して開催しました。逍遙が過ごした少年時代を中心に、市内外にある逍遙ゆかりの品を展示し、どのように成長していったかを紹介しました。

関連行事

■第 10 回逍遙フォーラム

5 月 24 日（日）14:00～16:00

緑のホール 入場料:500 円 参加者 80 人

■逍遙人生模様すごろく

5 月 6 日（水）(1)13:30～14:30 (2)14:30～15:30

エントランス・ホール 参加無料 参加者 13 人

■アートな 1 日講座「羊の小物作り」

5 月 17 日（日）13:00～16:00 エントランス・ホール 参加料:500 円 参加者 8 名

■ウチワ式平面人形劇と朗読

5 月 23 日（土）14:00～15:00 エントランス・ホール 入場無料 参加者 70 人

■ミュージアムトーク

4 月 18 日（土）14:00～15:00（参加者 6 人）

5 月 10 日（日）14:00～15:00（参加者 9 人）

資料目録

番号	資料名	員数	年代	所蔵先
1	逍遙の遺品(帽子、ステッキ、団扇、 棗、印鑑)	5 点		館 蔵
2	逍遙夫妻の写真	1 点	大正 8 年(1919)	館 蔵
3	山椿の歌	1 点	大正 11 年 (1922)	祐泉寺 蔵
4	逍遙からのはがき	1 点	大正 11 年(1922) 1 月 31 日	祐泉寺 蔵
5	逍遙からのはがき	1 点	大正 11 年(1922) 2 月 1 日	祐泉寺 蔵
6	山近水長	1 点	大正 11 年 (1922)	祐泉寺 蔵
7	圓融無碍	1 点	昭和 10 年(1935)	祐泉寺 蔵
8	父親の肖像画	1 点	明治時代	演劇博物館 蔵
9	母親の肖像画	1 点	明治時代	演劇博物館 蔵
10	「先考日記」	4 冊	幕末から明治初期	演劇博物館 蔵
11	尾張藩太田代官所絵図	1 点	大正時代	演劇博物館 蔵
12	尾張藩太田代官所復元模型	1 点	平成 15 年 9 月	太田小学校 蔵
13	勤農画帳	1 点	幕末	館 蔵
14	釈迦如来坐像	1 点	幕末	芳春寺 蔵
15	天神神社棟札	1 点	慶応 4 年(1868)	深田神社 蔵
16	深田村水害絵図	1 点	嘉永 5 年(1852)	深田自治会 蔵
17	尾張名所図会 前編卷之二	1 冊	天保年間頃	名古屋市博物館 蔵
18	逍遙選集第十二卷	1 冊	昭和 2 年(1927)	館 蔵
19	実語教	1 冊	文化 13 年(1816)	館 蔵
20	孝経	1 冊	江戸時代	館 蔵
21	大学	1 冊	江戸時代	館 蔵
22	論語	4 冊	江戸時代	館 蔵
23	少年時に観た歌舞伎の追憶	1 冊	大正 9 年(1920)	市中央図書館 蔵
24	兒雷也豪傑譚	1 冊	嘉永 3 年(1850)	個人蔵
25	北斎漫画	1 冊	明治時代	個人蔵
26	仮名読八犬伝	1 冊	嘉永 3 年(1850)	個人蔵
27	南総里見八犬伝	1 冊	江戸時代	個人蔵
28	皇女和宮の瓦版	1 枚	文久元年(1861)	館 蔵
29	武田耕雲齋歌碑の拓本	1 枚		館 蔵
30	大惣貸本店図	1 点	昭和 28 年(1953)	鶴舞中央図書館 蔵
31	貸本屋大惣本「圓頓戒和解」	3 冊	江戸時代	名古屋市博物館 蔵
32	貸本屋大惣本「通念集」	1 冊	江戸時代	名古屋市博物館 蔵
33	大惣の暖簾	1 点		個人蔵
34	大惣の暖簾	1 点		個人蔵
35	大惣関係資料	13 点		個人蔵
36	伏裏	1 面	享和 2 年(1802)	名古屋市博物館 蔵
37	大黒賛	1 面		名古屋市博物館 蔵
38	坪内逍遙書軸	1 幅		名古屋市博物館 蔵
39	江口欣宛書状	1 通	明治 44 年(1911)	名古屋市博物館 蔵
40	江口欣宛書状	1 通	明治 44 年(1911)	名古屋市博物館 蔵

41	坪内逍遙博士顕彰会綴	1	綴	昭和 31 年(1956)～	館 蔵
42	美濃加茂市の文化行事	1	点	昭和 31 年(1956)	館 蔵
43	小栗憲八の記念アルバム	1	冊	昭和 37 年(1962)	館 蔵
44	坪内逍遙年譜	1	冊		館 蔵
45	少年坪内逍遙	1	冊		館 蔵
46	有賀好風 米寿祝の風呂敷	1	点		館 蔵
47	有賀好風宛のはがき	1	枚	昭和 9 年(1934)7 月 31 日	館 蔵
48	逍遙の座像	1	点	昭和 45 年(1970)頃	館 蔵
49	林亮三氏記念アルバム	1	冊		館 蔵
50	林小一郎宛書簡 (屏風)	1	点	大正 8 年(1919)	林由是氏 蔵
51	坪内逍遙の書軸	1	幅		館 蔵
52	鈴木清次郎宛書簡	1	点	大正 8 年(1919)	館 蔵
53	鈴木清次郎宛はがき	1	点	大正 8 年(1919)	館 蔵
23	少年時に観た歌舞伎の追憶	1	冊	大正 9 年(1920)	中央図書館 蔵
54	坪内平右衛門日記	6	冊	明治時代	演劇博物館 蔵
55	画誌卯之花笠	1	冊	江戸時代	名古屋市博物館 蔵
56	「吾孀下五十三駅」	1	点	安政元年(1854)	館 蔵
57	中村座芝居番付	2	枚	明治 5 年(1872)8 月	名古屋市博物館 蔵
58	新守座芝居番付	2	枚	明治 6 年(1873)8 月	名古屋市博物館 蔵
59	『逍遙選集』	13	冊	昭和元年(1926)～ 昭和 2 年(1927)	館 蔵
60	シェークスピア全集	26	冊		館 蔵
61	桐一葉	1	冊	明治 29 年(1896)	館 蔵
62	菊と桐	1	冊	明治 31 年(1898)	館 蔵
63	新曲浦島	1	冊	明治 37 年(1904)	館 蔵
64	鉢かつき姫	1	冊	明治 40 年(1907)	市中央図書館 蔵
65	しんきょく金毛狐	1	冊	明治 41 年(1908)	市中央図書館 蔵
66	牧の方	1	冊	大正元年(1912)	館 蔵
67	霊験	1	冊	大正 4 年(1915)	市中央図書館 蔵
68	杳手鳥孤城落月	1	冊	大正 5 年(1916)	市中央図書館 蔵
69	劇壇の最近十年	1	冊	大正 6 年(1917)	市中央図書館 蔵
70	名残の星月夜	1	冊	大正 7 年(1918)	市中央図書館 蔵
71	芝居絵と豊国及其門下	1	冊	大正 9 年(1920)	市中央図書館 蔵
72	それからそれ	1	冊	大正 10 年(1921)	館 蔵
73	一讀三歎 当世書生氣質	1	冊	大正 15 年(1926)	館 蔵
74	後生楽	1	冊	昭和 4 年(1929)	館 蔵
75	良寛と子守その他	1	冊	昭和 4 年(1929)	館 蔵
76	歌舞伎畫證史話	1	冊	昭和 6 年(1931)	館 蔵
77	近世畸人傳その他	1	冊	昭和 6 年(1931)	館 蔵
78	史劇論	1	冊	昭和 7 年(1932)	市中央図書館 蔵
79	阿難と鬼子母	1	冊	昭和 9 年(1934)	市中央図書館 蔵

なつやすみ歴史探検—考古学にふれる—展

会 期 2009年7月18日(土)～9月6日(日) <42日間>
会 場 企画展示室
展示点数 73件
観 覧 料 一般200円(100円) 高校生以下 無料
入場者数 724人



内 容

わたしたちの足元の地面には、過去の人々の営みが遺跡として残されています。それらを発掘調査などによって読み解き、過去を復元するためには、「考古学」が大きな役割を果たしてきました。

そのような「現場」では、大学などをはじめとする調査・研究機関によって、日々、研究や発掘調査が進められており、後世に伝えるべき文化財の保存のため、また、歴史的な事実の解明に向けた努力が続けられています。その一方で、遺跡として知られるようになった場所の発見や貴重な採集品の保管などについては、地域の熱意ある方々の尽力が大きかったことも見逃すことはできません。

また今日においては、それらの成果が歴史や人類学的な研究につながるばかりでなく、遺構や遺物に対する自然科学的なアプローチ、出土品の活用、まちづくりや地域の求心的な存在として遺跡を活かす、世界遺産への登録に向けた動き、音楽や現代美術など多方面に広がりを見せており、多くの人々が関わっています。

今回の展覧会では、考古学者をはじめとする様々な人々が、各方面で、日々、力を注ぎ、「過去」と「現代」をつなげようと努力してきた姿や思い、その成果に「ふれられる」ように、わかりやすく紹介しました。また会場では、出土品などに「ふれられる」ことのできる体験コーナーを設け、子どもたちにも考古学を身近に感じられるように、研究の方法なども紹介しました。

関連行事

■ミュージアムフォーラム 「岐阜県の考古学研究 - 昭和30～40年代の可茂地域を中心に -」

8月29日(土) 13:30～15:30 研修室 参加料：無料 参加者：20人

講師：吉田英敏 氏 (日本考古学協会会員)

■体験講座 「なりきり弥生人！ “古代米づくり”刈入れの準備—石のナイフづくり—」

8月2日(日) 13:00～16:00 工芸室 参加料：100円 参加者：15人

■ふらっとみゅーじあむ 「大昔マーク バッグづくり」

8月5日(水) 13:30～16:00 エントランスホール 参加料：300円 参加者：86人

■ミュージアムトーク

7月18日(土) 14:00～15:00 参加者：4人

8月12日(水) 14:00～15:00 参加者：7人

刊行物

『なつやすみ歴史探検—考古学にふれる—』A4判 6頁 無料

資料目録

番号	資料名	点数	遺跡名など	時期	所蔵者・管理者
1	「美濃」国刻印須恵器	1	草笛町4丁目(トドメキ古墳)周辺	8世紀前葉	館蔵
2	『表面採集 I 昭和46年度』	1	美濃加茂市立西中学校郷土研究部 刊	1972(昭和47)年	館蔵
3	軒丸瓦	2	出土地不明・太田元薬師廃寺跡	7世紀後半	美濃加茂市立太田小学校 蔵・館蔵
4	四耳壺	1	蜂屋町下西 出土	13世紀中葉	美濃加茂市立蜂屋小学校 蔵
5	『雲根志』	1	斎藤 忠 1979『日本考古学史資料集成1』	江戸時代	斎藤考古学研究所
6	『日本産物志 美濃部』(復刻)	1	伊藤圭介 著	1868(明治元)年 刊	館蔵
7	「美濃」国刻印須恵器	1	関市?	8世紀前葉	館蔵
8	「美濃國と銘ある土器の形状」図	1	林 魁一 1924「美濃と彫り付けたる祝部土器に付きて」『考古学雑誌 第14巻第6号』より		
9	縄文土器が収められた箱	1	—	—	南山大学人類学博物館
10	縄文土器	8	二ツ塚遺跡	縄文時代中期	南山大学人類学博物館
11	第十回 日本人類学会 日本民族学協会 連合大会出席者名簿	1	—	1955(昭和30)	南山大学人類学博物館
12	林魁一コレクション(注記あり)	6	—	縄文時代ほか	館蔵
13	林魁一コレクション(遺物とラベル)	2	神明堂古墳(?)	古墳時代後期	館蔵
14	縄文・弥生土器	1	亀淵遺跡・二ツ塚遺跡	縄文—弥生時代	国立大学法人岐阜大学
15	石器	1	(旧)加茂郡古井町下古井塚原	縄文—弥生時代	国立大学法人岐阜大学
16	縄文土器	7	八幡遺跡	縄文時代前期	南山大学人類学博物館
17	考古学陳列室 ケース案内	1	—	1969(昭和44)	南山大学人類学博物館
18	長良川流域調査シリーズ 冊子	1	—	—	南山大学人類学博物館
19	第3回 津保川流域海老山包含地発掘(調査記録)	1	—	1966(昭和41)	南山大学人類学博物館
20	第3回 昭和41年度 長良川流域発掘調査のお知らせ	1	—	1966(昭和41)	南山大学人類学博物館
21	眠る郷土の遺跡発掘”第3回 津保川流域に祖先を求めて”(新聞記録)	1	—	1966(昭和41)	南山大学人類学博物館
22	A~Cトレンチ全体図	1	北野遺跡	—	南山大学人類学博物館
23	縄文土器写真	1	九合洞窟遺跡	縄文時代草創期	—
24	岐阜縣山縣郡九合洞窟遺跡調査報告	1	—	1956(昭和31)	個人 蔵
25	須恵器 無蓋高坏	1	二又1号墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
26	須恵器 有蓋高坏	1	二又1号墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
27	須恵器 坏蓋	1	二又1号墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
28	須恵器 坏蓋	1	二又1号墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
29	須恵器 坏身	1	二又1号墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
30	土師器 壺	1	二又1号墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
31	須恵器 直口壺	1	南大塚古墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
32	須恵器 長頸壺	1	南大塚古墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
33	須恵器 無蓋高坏	1	南大塚古墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
34	須恵器 坏身	1	南大塚古墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
35	須恵器 坏身	1	南大塚古墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
36	土師器 甕	1	南大塚古墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
37	須恵器 坏蓋	1	南大塚古墳	古墳時代後期	名古屋大学文学部考古学研究室
38	片口鉢	1	上県2号窯跡	13世紀中葉~後葉	愛知学院大学
39	甕	1	上県2号窯跡	13世紀中葉~後葉	愛知学院大学
40	甕	1	上県2号窯跡	13世紀中葉~後葉	愛知学院大学
41	上呂1号銅鐸	1	下呂市萩原町上呂	弥生時代中期	個人 蔵

42	パレス壺	1	亀淵遺跡	弥生時代後期	個人蔵
43	須恵器 坏	2	針田遺跡	8世紀前半	岐阜県文化財保護センター
44	土師器 甕	1	針田遺跡	8世紀前半～中葉	岐阜県文化財保護センター
45	須恵器 つまみ付蓋	2	針田遺跡	8世紀前半～中葉	岐阜県文化財保護センター
46	須恵器 蓋	1	針田遺跡	8世紀前半～中葉	岐阜県文化財保護センター
47	須恵器 有台坏	1	針田遺跡	8世紀前半～中葉	岐阜県文化財保護センター
48	須恵器 高坏	1	針田遺跡	8世紀前半～中葉	岐阜県文化財保護センター
49	製塩土器 蓋	1	針田遺跡	8世紀	岐阜県文化財保護センター
50	製塩土器	3	針田遺跡	8世紀	岐阜県文化財保護センター
51	製塩土器	2	針田遺跡	8世紀	岐阜県文化財保護センター
52	須恵器 甕	1	佐口遺跡	7世紀後半	岐阜県文化財保護センター
53	縄文土器 深鉢	1	富田清友遺跡	縄文時代早期	岐阜県文化財保護センター
54	縄文土器 深鉢	1	富田清友遺跡	縄文時代早期	岐阜県文化財保護センター
55	縄文土器 深鉢	1	富田清友遺跡	縄文時代早期	岐阜県文化財保護センター
56	朝顔形埴輪	1	後平茶臼古墳	5世紀末葉～6世紀初頭	岐阜県文化財保護センター
57	円筒埴輪	1	後平茶臼古墳	5世紀末葉～6世紀初頭	岐阜県文化財保護センター
58	縄文土器 深鉢	2	神明遺跡・牧野小山遺跡(牧野)	縄文時代中期	館蔵
59	土師器 器台	1	南野遺跡(加茂野町)	5世紀	館蔵
60	土師器 甕・甔	2	南野遺跡(加茂野町)	古墳時代後期	館蔵
61	土師器 坏	1	小貝戸2号古墳(牧野)	古墳時代後期	館蔵
62	畿内産土師器	1	小貝戸2号古墳(牧野)	7世紀後半	館蔵
63	弥生土器・碟	一式	上畑A地点遺跡(御門町)	弥生時代後期	館蔵
64	子どもたちによる考古学研究	一式	美濃加茂市内	—	個人蔵
65	後期旧石器～縄文時代草創期石器類	一式	北野遺跡(加茂野町)	後期旧石器～縄文時代草創期	個人蔵
66	後期旧石器～縄文時代草創期石器類	一式	海老山遺跡(加茂郡富加町)	後期旧石器～縄文時代草創期	個人蔵
67	細石刃	5	海老山遺跡・北野遺跡	後期旧石器時代	個人蔵
68	細石核	5	海老山遺跡・北野遺跡	後期旧石器時代	個人蔵
69	搔器	1	海老山遺跡(加茂郡富加町)	後期旧石器～縄文時代草創期	個人蔵
70	石器・剥片	一式	星塚遺跡(各務原市)ほか	—	個人蔵
71	灰釉陶器(刻書)	1	山之上町 出土	古代末～中世初頭	名古屋博物館
72	軒丸瓦	1	輪形古窯跡(加茂郡坂祝町)	7世紀後半	館蔵
73	寄贈・発見された考古資料	一式	美濃加茂市内	—	館蔵

Calling 木藤純子展

会 期 2009年9月19日(土)～10月18日(日) <26日間>
10月3日(土)、18日(日)は夜間開館(～21:00)
会 場 企画展示室、美術工芸展示室、エントランスホール、
展示ホール
展示作品 10点
観 覧 料 無料
入場者数 1551人



内 容

美濃加茂市民ミュージアムでは、「芸術と自然」をテーマとした滞在制作による作品発表やワークショップの開催など、美術に触れ作家と交流する場を提供してきました。今年度は京都在住の作家・木藤純子(1976年-)を紹介しました。

作家は、成安造形大学造形学部造形美術科洋画クラスを卒業後、研究生として在学中から関西を中心に個展やグループ展を多数開催してきました。現地に赴いて得たインスピレーションを掘り下げ、その場所ではかできない表現を試みています。今回作家は半年にわたる滞在制作に取り組みました。館を取り囲む森や建物自体の特徴を汲み取りながら、様々な物象が展示空間に踏み込んでくるような場をつくり出しました。

また、作家の表現の鍵となる「光」を捉えるイベントを開催しました。自分の力で火の光をおこすワークショップを開催するほか、中秋の名月の夜には、月見のしつらえと共に作品を生活体験館「まゆの家」に飾りました。更にこの10月3日と、新月になる18日の夜には、この日限りのインスタレーションを行いました。静寂の闇の中で呼び起こされた五感の赴くままに、木藤純子の世界をお楽しみいただけたことと思います。

関連行事

- アートな1日講座「木藤純子ワークショップ 光をおこす」
9月27日(日) 13:00～16:00 芝生広場 参加無料 参加者:28人
講師:木藤純子氏
- 「観月会」
10月3日(土) 19:00～21:00 生活体験館「まゆの家」 観覧無料 参加者:74人
- 夜間インスタレーション
10月3日(土)と18日(日) 19:00～21:00 タワー 自由観覧

刊行物

『Calling 木藤純子展』A5判 16頁 価格100円

作品目録

- 1 Sound of Silence #1 2009年／企画展示室
木の葉、白熱電球、LED電球、送風機、その他
- 2 Sound of Silence #2 2009年／美術工芸展示室
蓄光塗料、白熱電球、LED電球、ボイド管、シート、その他
- 3 Sound of Silence #3 2009年／タワー
DVD、DVDプレイヤー、プロジェクター、スクリーン
*10月3日、18日 19:00-21:00のみ展示
- 4 skypot 2009年／エントランスホール
ガラス、シート
- 5 skypot 2009年／エントランスホール
ガラス、シート
- 6 skypot 2009年／展示ホール
ガラス、シート
- 7 skypot 2009年／展示ホール
ガラス、シート

観月会 作品目録

- 1 skypot 2009年 グラス、モニター
- 2 skypot 2009年 グラス、モニター
- 3 fall 2009年 紙吹雪、送風機、タイマー

関連出品： 大矢峻嶺 「桜」 絹本着色 美濃加茂市民ミュージアム蔵

ていねいな暮らしのあったころ - 佐野一彦の撮った伊深の里山 - 展

会 期 2009年12月12日(土)～2010年1月24日(日)〈31日間〉
会 場 企画展示室
展示資料 93点
観 覧 料 無料
入場者数 2,099人



内 容

昭和30年代から40年代、「古き良き時代」ともいわれます。貧しくとも未来に希望を持ち少々不便でも質素で満足感のある暮らしを人々はしていました。

疎開後、美濃加茂市の北部・伊深町に暮らしていた佐野一彦(1903-1997)は、民俗学の眼からみた当時の身の回りの光景を約7千枚の写真に残しました。周りの自然やかかわる人を大切に、つつましくていねいに生きていた人々の記録です。いずれも当時を思い返す懐かしさが伝わってくるものですが、ただそれだけではなく、そこにはいまの私たちの生活や社会に対するいろいろなメッセージが込められていると考えます。

現代は、高度の情報化や効率化によって居心地よく便利な生活ができるようになりました。わたしたちは当時の生活様式に再び戻ることはできませんが、気持ちだけはすこし取り戻せるかもしれません。

本展では、快適さと引き換えに失いつつある大事なものを考え、少し行き過ぎたふだんの暮らしを見つめなおす、今を生きる人々にとって一つの小さなきっかけとなればというメッセージを込めて、佐野一彦が残した写真から85点と愛用の品を展示し紹介しました。

関連行事

- ミュージアムイベント①「道草 - 伊深の冬のさと -」
12月12日(土) 13:00～15:00 美濃加茂市伊深町地内 参加無料 参加者:20人
- 四季を食べる講座 特別講座「山里のふだんの料理」
1月17日(日) 10:00～13:00 生活体験館 参加料:600円 参加者:19人
- ミュージアムイベント②「『伊深日記』の朗読とおはなし」
1月17日(土) 14:00～15:00 生活体験館 参加無料 参加者:約100人
- ミュージアムイベント③「小さな和布団づくり」
1月23日(土) 13:00～16:00 生活体験館 参加料:200円 参加者:13人
- まゆの家年中行事「門松たて」
12月19日(土)～1月11日(月・祝) 9:00～17:00 生活体験館 観覧自由
- ミュージアムトーク(展示解説)企画展示室
1月10日(日) ①11:00～12:00 参加者:3人 ②14:00～15:00 参加者:20人

刊行物

『ふるさとファイルNo.14 ていねいな暮らしのあったころ 佐野一彦の撮った伊深の里山』
A5判 18頁 価格200円

「ていねいな暮らしのあったころ 佐野一彦が撮った伊深の里山」展 展示目録

番号	写真名	地名など	記録日 (和暦)	西暦	資料番号
1	はぎれ売りが来てみせを出す		昭和 38 年 4 月 22 日	1963	34
2	はぎれ売り		昭和 38 年 4 月 22 日	1963	1629
3	かひうさぎ	北岡	昭和 38 年 3 月 21 日	1963	1563
4	山羊の子		昭和 38 年 5 月 20 日	1963	1686
5	ひな祭りのクサモチのヨモギを摘む		昭和 41 年 4 月 9 日	1966	6766
6	わらび採り	柿洞	昭和 41 年 4 月 23 日	1966	5470
7	つくしを摘む子ども	鐘ヶ洞	昭和 39 年 3 月	1964	4855
8	つくしをつむ子ら	南岡下	昭和 42 年 4 月 8 日	1967	5829
9	こひのぼり	寺洞	昭和 38 年 5 月 2 日	1963	5002
10	鯉のぼり	寺洞	昭和 39 年 5 月 4 日	1964	5187
11	ちまきのすすきの葉を茹る	追洞	昭和 42 年 5 月 4 日	1967	5885
12	ちまき		昭和 40 年 5 月 5 日	1965	6739
13	川水をせきて小魚をとる子どもたち	中切橋かみ	昭和 39 年 5 月 11 日	1964	4762
14	魚つりの子ども	中切	昭和 38 年 5 月 12 日	1963	4900
15	れんげを茹る	下町	昭和 38 年 5 月 24 日	1963	3365
16	れんげを茹って車ではこぶ	関也	昭和 38 年 5 月 24 日	1963	3362
17	茶つみ ひと休み	北岡	昭和 38 年 5 月 24 日	1963	5057
18	お茶をもむ		昭和 40 年 5 月 31 日	1965	2780
19	テエナで魚をとる	東田	昭和 39 年 5 月 29 日	1964	6710
20	テエナ 寺門	寺洞	昭和 39 年 5 月 31 日	1964	23
21	からげた麦(小麦)を車につむ	ジウゼンナ	昭和 39 年 6 月 2 日	1964	3336
22	麦のとりいれ 軒に立てかけた麦束	岩井洞口	昭和 40 年 6 月 25 日	1965	3339
23	うどんほし	組合	昭和 37 年 10 月 20 日	1962	2091
24	ほしうどん	組合くるまや前	昭和 39 年 7 月 21 日	1964	5311
25	畦草を茹り 道にしきほす	藪下	昭和 39 年 7 月 28 日	1964	3391
26	あぜの草かり	寺洞口	昭和 38 年 7 月 27 日	1963	3392
27	水およぎ 上切の子どもたち	中切橋	昭和 39 年 7 月 31 日	1964	5340
28	子どもの水あそび	中切橋した	昭和 43 年 7 月	1968	7377
29	七夕の竹を切る	東山 猿屋洞	昭和 39 年 8 月 16 日	1964	4771
30	七夕		昭和 38 年 8 月 17 日	1963	3723
31	女性の内職 箱貼り		昭和 39 年 8 月 16 日	1964	4996
32	内職 爪切り鋏		昭和 43 年 9 月初旬	1968	7432
33	盆のお花とり		昭和 40 年 8 月 20 日	1965	6782
34	春彼岸のお花きり	追洞	昭和 38 年 3 月 20 日	1963	6753
35	月見の供へ物		昭和 40 年 9 月 10 日	1965	3515
36	柿を落とす子ども	東田	昭和 38 年 9 月 11 日	1963	20
37	柿と菊	南岡	昭和 38 年 11 月 8 日	1963	1860
38	屋根がへ		昭和 39 年 10 月 2 日	1964	4761
39	屋根ふきかへ	寺洞	昭和 39 年 9 月 20 日	1964	5414
40	イモコデ	山本	昭和 40 年 10 月 23 日	1965	3042
41	いもをかこふ	西切	昭和 38 年 10 月 22 日	1963	6619
42	大豆を干す	寺洞	昭和 38 年 10 月 22 日	1963	5008
43	秋 いもだつ(ずいき)くろまめらっかせい	寺洞	昭和 37 年 11 月 6 日	1962	5017
44	桶屋		昭和 38 年 11 月 8 日	1963	53
45	肥桶を荷ふ		昭和 41 年 3 月 15 日	1966	4916
46	洗濯①	牛牧	昭和 38 年 3 月 11 日	1963	4896
47	洗濯②		昭和 37 年 11 月 17 日	1962	4895
48	大根を洗ふ		昭和 37 年 11 月 27 日	1962	5039
49	大根を干す		昭和 37 年 12 月 4 日	1962	3523
50	大根サキボシ		昭和 37 年 12 月 17 日	1962	2268

51	サキボシ大根		昭和 38 年 12 月 15 日	1963	6634
52	白菜を洗ふ		昭和 37 年 11 月 27 日	1962	2194
53	白菜を干す	東田	昭和 42 年 11 月 24 日	1967	6388
54	やきぬか モミヌカを焼く		昭和 37 年 12 月 4 日	1963	2206
55	やきぬか		昭和 37 年 12 月 8 日	1963	3435
56	割り木を束ねる	東田	昭和 39 年 12 月 12 日	1964	6642
57	あへを作る	追洞	昭和 38 年 3 月 4 日	1963	2451
58	農家のダイドコロ		昭和 37 年 11 月 17 日	1962	2165
59	民家内部 台所とくど		昭和 37 年 12 月 27 日	1962	4923
60	民家の裏 流しもと		昭和 37 年 12 月 27 日	1962	4611
61	門松を立てる		昭和 37 年 12 月 31 日	1962	6799
62	正月の立白の松		昭和 40 年 1 月 1 日	1965	4778
63	正月の子どもの遊び すごろく	佐野家	昭和 38 年 1 月 2 日	1963	2307
64	羽根つき	上切 弘法堂	昭和 38 年 1 月 1 日	1963	2306
65	わらしごと ビク、ナベシキ①		昭和 43 年 1 月	1968	6342
66	わらしごと ビク、ナベシキ②		昭和 43 年 1 月	1968	6343
67	ひおもで 縫ひ仕事		昭和 38 年 2 月 2 日	1963	6821
68	ぬひもの		昭和 39 年 12 月 20 日	1964	35
69	タマミソを作る わらにとほす		昭和 42 年 2 月 4 日	1967	3714
70	味噌を作る		昭和 37 年 12 月 23 日	1962	2279
71	孫をつれて卵を出しに	寺洞口	昭和 39 年 3 月 10 日	1964	5067
72	綿くり	寺洞	昭和 38 年 2 月 3 日	1963	164
73	まつごかき 山をゆく	山本	昭和 38 年 3 月 6 日	1963	2463
74	まつごかき		昭和 38 年 3 月 6 日	1963	2464
75	あへを切る 車に積んで山より出す	星宮前	昭和 38 年 3 月 19 日	1963	6641
76	たき物 かどに積む		昭和 38 年 3 月 14 日	1963	3527
77	ひな人形売り		昭和 39 年 3 月	1964	2007
78	ひな祭り いろいろのひな人形		昭和 38 年 3 月 6 日	1963	2461
79	ふとんに綿を入れる①		昭和 39 年 3 月	1964	5090
80	ふとんに綿を入れる②		昭和 39 年 3 月 28 日	1964	4889
81	ふとんを干す		昭和 44 年 3 月末	1969	7602
82	ふとんを屋根に干す		昭和 38 年 3 月 2 日	1963	37
83	背板①		昭和 38 年 3 月 4 日	1963	2455
84	背板②		昭和 38 年 3 月 4 日	1963	59
85	藁積み サンニキル	寺洞口	昭和 37 年 11 月 9 日	1962	5086

資料

番号	資料名	時代
資料 1	「伊深日記」	昭和
資料 2	百人一首	昭和
資料 3	花札	昭和
資料 4	帽子	昭和
資料 5	カメラ	昭和
資料 6	スライド	昭和
資料 7	佐野家家族 (写真)	昭和 24 年頃
資料 8	佐野一彦とえんね夫妻 (写真)	昭和 41 年 5 月 20 日

1. 写真は、基本的に季節順に展示してあります。
2. 写真名および地名などについては、佐野一彦がつけたものをほぼそのまま記載しました。
3. 写真は、撮影されてから年数が経ているため、変色している部分があります。
4. 今回の写真のうち多くは、みのかも文化の森ホームページ内「図鑑的昭和生活」でも閲覧ができます。
5. 右端の資料番号は「図鑑的昭和生活」との関連で記してあるものです。

すきなものをすきなように 坂井範一展

会 期 2010年1月30日(土)～3月22日(月・祝) <44日間>
会 場 企画展示室・美術工芸展示室
展示作品 50点 展示資料 21件
観 覧 料 一般 200円 (高校生以下は無料)
入場者数 1066人



内 容

美濃加茂市蜂屋町出身の坂井範一(1899～1981年)は、新制作派協会に所属し、戦後岐阜市を拠点に作家として、また教育者として様々な活動を展開しました。現在では主に洋画家として知られている坂井ですが、色と形をテーマとした油彩を制作し展覧会へ出品するほか、小さな立体作品なども手がけたり、包装紙や本の装丁デザインの仕事にも関わり、大学では造形教育にも携わるなど、幅広く「ものづくり」を愛してやまない美術家でもありました。この展覧会では、美術を通して岐阜における文化の核でありつづけた坂井範一の画業を、昭和20年代を端緒として今一度見つめ直しました。油彩、デザイン、立体から小物まで、坂井が手がけた様々な作品を展覧しました。

そしてまた、坂井の「ものづくり」への関心を表すエピソードのひとつとして、イサム・ノグチとの交流をノグチの作品とともに紹介します。1951年、光の彫刻を作りたいと考えていたイサム・ノグチは坂井をたよりにして日本での滞在中に岐阜へやってきます。坂井のそばで滞在したイサム・ノグチは職人とともに制作に励み、それまでの提灯には見られなかった型破りなかたちの「あかり」を産み出します。この展覧会の中で、イサムの「あかり」と関連資料を共に展示しました。

関連企画

■アートな1日講座「嘉久雛をつくろう」

1月31日(日) 13:00～16:00 エントランスホール 参加料:500円 参加者:20人

■ミュージアムフォーラム「坂井範一先生のこと」

2月11日(木・祝) 14:00～15:30 研修室 聴講無料 参加者:46人

講師 萩野喜弘氏

■ビデオ上映会+ミュージアムトーク

2月7日(日) 14:00～15:30 みどりのホール、企画展示室 参加者:28人

2月27日(土) 14:00～15:30 みどりのホール、企画展示室 参加者:10人

刊行物

『すきなものをすきなように 坂井範一展 図録』A4判 52頁 価格800円

作品・資料目録

坂井範一作品リスト

No	題名	材質・技法	サイズ (cm)	制作年	所蔵先
1	雪の山	油彩、画布	44.0×51.5	1931(昭和 6)年	美濃加茂市民ミュージアム
2	浴後	油彩、画布	160.5×110.5	1936(昭和 11)年	愛知県美術館
3	風景	油彩、画布	23.7×40.1	1939(昭和 14)年頃	個人蔵
4	洲の暁	油彩、画布	129.0×192.5	1941(昭和 16)年	岐阜県美術館
5	女性像	油彩、画布	48.5×59.5	1945-50(昭和 20-25)年頃	美濃加茂市民ミュージアム
6	鶺鴒	油彩、画布	92.0×160.0	1947(昭和 22)年	岐阜市
7	腰かけた女	油彩、画布	60.6×72.7	1948(昭和 23)年	岐阜県美術館
8	白いセーター	油彩、画布	45.5×38.0	1948(昭和 23)年	美濃加茂市民ミュージアム
9	裸婦	油彩、画布	65.5×91.0	1949(昭和 24)年	岐阜会館
10	裸婦	油彩、画布	90.0×73.3	1950(昭和 25)年	美濃加茂市民ミュージアム
11	裸婦	油彩、画布	89.0×71.0	1950(昭和 25)年頃	美濃加茂市民ミュージアム
12	黒い椅子	油彩、画布	72.0×60.5	1952(昭和 27)年	個人蔵
13	筍	油彩、画布	194.5×97.0	1957(昭和 32)年	和知小学校
14	竹	油彩、画布	90.5×60.4	1959(昭和 34)年頃	美濃加茂市民ミュージアム
15	風景	油彩、画布	72.7×60.9	1960-64(昭和 35-39)年頃	美濃加茂市民ミュージアム
16	鶺鴒	油彩、画布	72.7×60.9	1960-64(昭和 35-39)年頃	美濃加茂市民ミュージアム
17	溪流	油彩、画布	146.0×98.0	1961(昭和 36)年	美濃加茂市民ミュージアム
18	色と形	油彩、画布	175.5×170.5	1962(昭和 37)年頃	名古屋学芸大学
19	船A	油彩、画布	145.0×96.5	1965(昭和 40)年	岐阜県美術館
20	長良橋	油彩、画布	60.2×72.2	1965-70(昭和 40-45)年頃	美濃加茂市民ミュージアム
21	卓上	油彩、画布	118.0×118.0	1968(昭和 43)年	美濃加茂市民ミュージアム
22	雨夜の品定	油彩、画布	117.0×81.0	1976(昭和 51)年	美濃加茂市民ミュージアム
23	金華山	油彩、画布	60.6×72.7		美濃加茂市民ミュージアム
24	三重塔	油彩、画布	72.7×50.0		美濃加茂市民ミュージアム
25	竹	紙本着色、鉄	180.7×67.5(2点)、 50.0(脚の奥行き)		個人蔵
26	百寿印	木	6.1×6.1×4.0		美濃加茂市民ミュージアム
27	嘉久籬	顔料、木	13.5×24.0×13.5	1959(昭和 34)年	個人蔵
28	キツネ 1	木、紙、テグス、ひも	13.2×7.8×6.8		個人蔵
29	キツネ 2	木、紙、テグス、ひも	12.3×12.2×4.8		個人蔵
30	キツネ 3	木、紙、テグス、ひも	17.0×25.0×4.9		個人蔵
31	キツネ 4	木、紙、テグス、ひも	13.6×8.0×6.8		美濃加茂市民ミュージアム
32	キツネ 5	木、紙、テグス、ひも	13.6×8.0×6.8		美濃加茂市民ミュージアム
33	キツネ 6	木、紙、テグス、ひも	12.2×12.2×4.8		美濃加茂市民ミュージアム
34	デザイン 1	色紙、画用紙	33.2×18.3		個人蔵
35	デザイン 2	色紙、画用紙	28.8×26.5		個人蔵
36	デザイン 3	色紙、画用紙	23.3×32.3		個人蔵
37	デザイン 4	色紙、画用紙	27.2×27.3		個人蔵
38	デザイン 5	色紙、画用紙	33.0×24.7		個人蔵
39	デザイン 6	色紙、画用紙	22.5×30.5	1979(昭和 54)年頃	個人蔵
40	『彩雲』デザイン	紙	46.8×32.0	1977(昭和 52)年頃	個人蔵
41	蜂屋柿	色紙、着彩	27.0×24.0		美濃加茂市民ミュージアム

坂井範一 資料

No	資料名	制作年	所蔵先	備考
資料 1	風味庵 包装紙		美濃加茂市民ミュージアム	
資料 2	テーブル		個人蔵	
資料 3	小皿 (小物入れ)	1951(昭和 26)年	美濃加茂市民ミュージアム	岐阜大学学芸学部同窓会記念品
資料 4	浴衣		個人蔵	
資料 5	キツネ		美濃加茂市民ミュージアム	
資料 6	『随想』外袋	1979(昭和 54)年	美濃加茂市民ミュージアム	
資料 7	堂上蜂屋柿 包装紙		美濃加茂市民ミュージアム	

装丁・表紙絵を手がけた書籍・雑誌

No	編著者、題名	発行所、出版者	発行年	所蔵先
書籍 1	豊田三郎『青年時代』 装丁	甲鳥書院	1941(昭和 16)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 2	『総合文化誌 地方文化』第 4 号 表紙絵	地方文化社	1946(昭和 21)年	岐阜県図書館
書籍 3	加藤かけい『句集 浄瑠璃寺』 装丁	新日本出版株式会社	1947(昭和 22)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 4	『第一回岐阜市展目録』 表紙絵	岐阜市	1948(昭和 23)年	岐阜県図書館
書籍 5	『華陽』盛夏号 表紙絵	国家地方警察岐阜県本部警務部	1953(昭和 28)年	個人蔵
書籍 6	『文学・ぎふ』2号 表紙絵	岐阜県作家協会	1956(昭和 31)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 7	『文学・ぎふ』4号 表紙絵	岐阜県作家協会	1957(昭和 32)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 8	『文学・ぎふ』7号 表紙絵	岐阜県作家協会	1958(昭和 33)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 9	小木曾旭晃『岐阜縣の偉人』 装丁	大衆書房	1958(昭和 33)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 10	『藤村耕一先生遺稿集 彩雲』 表紙絵、外箱	耕文堂	1977(昭和 52)年	岐阜市立図書館
書籍 11	岐阜県ユネスコ協会 『岐阜文学どらいぶ』 表紙絵	岐阜県ユネスコ協会	1966(昭和 41)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 12	『蜂屋小学校開校百年記念誌 蜂屋』 表紙絵	蜂屋小学校教育百年顕彰委員会	1974(昭和 49)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 13	桂川民男、遠藤恒樹ほか『下呂の子たち』 装丁	下呂小学校	1961(昭和 36)年	美濃加茂市民ミュージアム
書籍 14	『J.P.R.』 表紙絵	J.P.R	1958(昭和 23)年	岐阜県美術館

イサム・ノグチ 作品リスト

No	題名	材質・技法	サイズ (cm)	制作年	所蔵先
1	あかり 2A	和紙、竹、鉄、電球	51.0×径 22.0	1952(昭和 27)年	美濃加茂市民ミュージアム
2	あかり 6A	和紙、竹、鉄、電球	61.0×径 34.0	1952(昭和 27)年	美濃加茂市民ミュージアム
3	あかり 9A	和紙、竹、鉄、電球	67.0×径 44.0	1952(昭和 27)年	美濃加茂市民ミュージアム
4	あかり 10A	和紙、竹、鉄、電球	126.0×径 59.0	1952(昭和 27)年	美濃加茂市民ミュージアム
5	あかり 14A	和紙、竹、鉄、電球	162.0×径 40.0	1952(昭和 27)年	美濃加茂市民ミュージアム
6	あかりに関する開発図面 1 (作図：吉村正義)	鉛筆、紙	51.0×42.5	1952(昭和 27)年	個人蔵 (美濃加茂市民ミュージアム寄託)
7	あかりに関する開発図面 2 (作図：吉村正義)	鉛筆、紙	47.3×41.5	1952(昭和 27)年	個人蔵 (美濃加茂市民ミュージアム寄託)
8	無限の連結	鉄	55.9×33.0×24.8 (3点)	1957(昭和 32)年	個人蔵
9	サイン	鉛筆、紙	25.0×35.0		個人蔵 (美濃加茂市民ミュージアム寄託)
10	あかりに関する開発図面 3 (作図：吉村正義)	墨、紙	29.0×26.5		個人蔵 (美濃加茂市民ミュージアム寄託)

収蔵品展

□「芸術と自然」－時間をめぐって

会 期 2009年6月27日(土)～9月6日(日)〈60日間〉

会 場 美術工芸展示室

展示作品 10点

観 覧 料 無 料

内 容

2000年10月のオープン以来、美濃加茂市民ミュージアムでは「芸術と自然」をテーマとして、ワークショップや滞在制作、企画展の開催や、関連した現代美術作品を収集してきました。「自然」に対する作家の考え方や最終的な表現方法は様々であり、その中には「時間」の概念と密接な関係を結んでいる作品があります。今回はこの現代美術コレクションのなかから、7月18日から9月6日の間に企画展示室で開催した「なつやすみ歴史探検－考古学にふれる－」展に関連して、過去から現在に至るまでの時の流れ、あるいは自然の中に在り続ける「時間」と「人間」の関係について、アートの世界から眺めてみました。

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年
1	大久保英治	水と人の記憶	布、木、糸、アクリル、水	2006年(寄託品)
2	大久保英治	水と人の記憶	流木、石、木箱	2006年(寄託品)
3	大久保英治	天と地の間に－みのかも	ペン、水彩、紙	2000年
4	栗田宏一	SOIL LIBRARY [GIFU]	土、ガラス瓶、木	2006年
5	佐光庸行	丹沢の風景	御影石、玉石	1991年
6	眞板雅文	石の譜	ブロンズ、石	2001年
7	眞板雅文	連なる山	石、鉄	1999年
8	山口啓介	ベルベット／原植物のシナプス	銅版画、紙	2002年
9	山口啓介	原植物の花図	銅版画、紙	2002年
10	若林奮	1991. 2. 1	鉛筆、水彩、紙	1991年

□冬の収蔵品展

美濃加茂市民ミュージアムでは「地域ゆかりの作家たち」というテーマのもとに、様々な作家たちの作品を収集し、展覧してきました。市制 55 周年の記念事業として、これまでに作家の皆様方からご寄贈いただきました美濃加茂市ゆかりの美術家たちの作品を紹介しました。

会 期 2009年12月12日(土)～2010年1月21日(木)〈28日間〉

会 場 美術工芸展示室

展示作品 13点

観 覧 料 無 料

No.	作家名	作品名	技法材質	制作年
1	大矢峻嶺	風景（小下絵）	紙本淡彩	
2	小川博史	黒い雲	油彩、画布	1983（昭和58）年
3	小林文一	赫陽	陶土	1996（平成8）年
4	小林文一	湖水の響	陶土	2003（平成15）年
5	座馬井邨	書とともに（自詠）	紙本墨書	1999（平成11）年
6	座馬井邨	岡麓の歌	紙本墨書	2003（平成15）年
7	船坂芳助	My Space and My Dimension-7(WORK-A30)	木版、紙	1970（昭和45）年
8	船坂芳助	My Space and My Dimension-M17	木版、シルクスクリーン、紙	1989（平成元）年
9	堀江良一	弧のある風景 97-15	木版、紙	1997（平成9）年
10	堀江良一	弧のある風景 99-1	木版、紙	1999（平成11）年
11	山田玉雲	ムンク（スイス）	紙本墨画	1990（平成2）年
12	山田貞實	幽冥	油彩、画布	1984（昭和59）年
13	渡辺浩	炉	紙本着色	1972（昭和47）年

□蚕とまゆ展09

会期 2009年5月23日（土）～7月26日（日）〈54日間〉
 会場 民具展示館、生活体験館
 展示点数 約60点
 観覧料 無料

□暮ラシカル道具展10

会期 2010年1月9日（土）～3月22日（祝）〈61日間〉
 会場 生活体験館
 展示資料 約20点
 観覧料 無料

その他の展示活動

□第54回美濃加茂市美術展

会期 2009年11月19日（木）～11月29日（日）〈10日間〉
 会場 企画展示室、美術工芸展示室、展示ホール、エントランスホール
 観覧料 無料

美術との身近なふれあいの場として、文化の発展のために市内外から日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の5部門にわたって作品を公募しました。第54回は268点の出品があり、そのうちの入賞入選作品252点を展覧しました。

日本画の部	洋画の部	彫刻・彫塑・工芸の部	書の部	写真の部	合計
31点	75点	33点	26点	87点	252点

各種講座・ミュージアムイベント

□催し物・コンサート等

	名 称	期 日	時 間	講師・出演者	参加者
1	第9回春・朗読の一日	4月26日	10:00～16:00	市内外の朗読愛好者	600人
2	「ウチワ式平面人形劇と朗読」	5月23日	14:00～15:00	劇団はらぺこ	70人
3	第10回 逍遙フォーラム	5月24日	14:00～16:00	鳥越文臈氏他	80人
4	第13回ゴールデンアート劇場	6月21日	①10:00～②11:00～	アートボランティア	35人
5	森のコンサート「アフリカン太鼓」	6月28日	14:00～15:00	岐阜サブニューマ	200人
6	七タミニコンサート	7月7日	12:30～14:00	あじさい教室	50人
7	部分日食をのんびり見る会inみのかも	7月22日	9:30～12:30		60人
8	森のコンサート「ジャズ」	8月2日	19:00～20:00	高橋誠アコースティックバンド	120人
9	ミュージアムフォーラム 講演会	8月29日	13:30～15:30	吉田英敏氏	20人
10	演劇ワークショップ	9月10日	18:30～21:00	神里雄大氏	15人
11	科学作品展・社会科作品展	9月11日～13日	9:00～17:00		2,218人
12	野外劇「山月記」アフタートーク	9月12日	18:30～19:30	早稲田大学学生(劇団森)	80人
13	観月会	10月3日	19:00～21:00	木藤純子氏	69人
14	「能を楽しむ 基礎のきそ」	10月11日	14:00～15:30	林和利氏(名古屋女子大学)	44人
15	環境課・絵画展	10月23日	9:00～17:00		300人
16	まゆの家まつり	10月25日	10:00～15:00		350人
17	フリーマーケット	10月25日	10:00～15:00		150人
18	第14回ゴールデンアート劇場	11月23日	①10:00～②13:00～	アートボランティア	20人
19	美濃加茂市子ども展	12月4～6日	9:00～17:00		1,939人
20	クリスマスコンサート	12月5日	13:00～14:30	美濃加茂東中吹奏楽部他	200人
21	第13回朗読フェスティバル	12月6日	9:00～18:00	声のドラマの会他	550人
22	森のコンサート「クラシック」	12月20日	14:00～15:00		150人
23	「伊深日記」の朗読とおはなし	1月17日	14:00～15:00	佐野綾目氏	100人
24	ミュージアムフォーラム 講演会	2月11日	14:00～15:30	萩野喜弘氏	46人
25	環境フェア	3月12日～14日	9:00～17:00		1,200人

□定期講座・行事

	名 称	回数	期 日	時 間	講師	会 場	参加者
1	ミュージアムトーク	8	4月18日 ～2月27日		学芸員	企画展示室	87人
2	森の朗読会	11	4月18日 ～3月20日	14:00～15:00	声のドラマの会	緑のホール	584人
3	「みのかも自然図鑑」	5	4月29日 ～1月6日	各2時間ほど	自然史研究会	文化の森他	63人
4	はたおり講座(初級)	5	5月14日 ～6月11日	10:00～15:00	生活体験ボランティア	生活体験館	24人
5	歴史体験講座	4	5月16日 ～10月3日	10:00～12:00	展示ガイドボランティア他	文化の森他	24人
6	陶芸(初級)	8	5月20日 ～7月8日	19:00～21:30	後藤秀樹氏	陶芸室	102人
7	声のドラマ(11期生ほか)	24	6月4日 ～11月20日		声のドラマの会他	研修室他	749人
8	展覧会関連講座	9	8月2日 ～1月23日				207人
9	はたおり講座(中級)	5	9月3日 ～10月9日	10:00～15:00	生活体験ボランティア	生活体験館	25人
10	画家にならないための水彩教室	4	9月4日 ～9月25日	13:00～16:00	のりづき としお氏	工芸室	64人

□たんけんたい

*申込者数が定員に満たなかったため、申込者に個別対応した。

申込者数 2名 相談内容 昔の遊びなど

□ふらっとみゅーじあむ

	名称	期日	時間	内容	会場	参加者
1	坪内逍遙 人生もようすごろく	5月6日	1回目 13:30- 2回目 15:00-	巨大すごろくをしながら、逍遙の一生を知る。	エントランスホール	13人
2	さいころ パズル	7月29日	14:00~16:00	3枚の紙を組み合わせて、「立体パズル」をつくる。		118人
3	大昔マーク バッグ	8月5日		消しゴムスタンプを作り、それを模様にしてエコバッグを作る。		86人
4	スケルトン 折り紙	8月12日		メッシュの折り紙で生き物などを折る。		65人
5	ふくらむ ふしぎ	8月19日		水につけるとふくらむ紙で生き物などをつくる。		42人
6	ましゅまる ねんど	8月26日		固まってもやわらかい粘土で生き物などを作る。		84人

□フォレストくらぶ

	名称	期日	時間	内容	会場	参加者
1	田んぼプロジェクト① 「田うえ」	5月16日	10:00 ~	古代米の田植えをする。	研修室 田んぼ	22人
2	田んぼプロジェクト② 「草取り」	6月20日	12:00	5月に田植えをした田んぼの草取りをしたり、稲の成長を見たり、生き物を見つける。	生活体験館 田んぼ	11人
3	とん！ドドン！！コンサート	6月28日	13:00 ~ 15:00	演奏家と一緒にアフリカン太鼓を演奏したり、踊ったりする。	芝生広場 工芸室	16人
4	お日様 エコバッグ&ミュージアムトーク	7月18日	10:00 ~ 12:00	特殊な染液を使って、エコバッグを作る。企画展で解説を聞く。	工芸室 企画展示室	16人
5	夏色ブルー	8月1日		ハンカチに葉っぱのたたき染めをして、藍染のお話を聞く。	生活体験館	11人
6	夏のとくべつなお話	8月22日	14:00 ~ 15:00	みのかも「声のドラマ」の会の「森の朗読会8月」を聴く。	緑のホール	4人
7	田んぼプロジェクト③ 「収穫」	10月3日	10:00 ~	5月に田植えをした田んぼの稲刈りをする。古代人のように石包丁で穂摘みの体験をする。	工芸室 田んぼ	14人
8	だいたいいろのたからもの	11月21日	12:00	蜂屋柿で干し柿を作る。皮をむき、硫黄でくん蒸の工程まで行う。	生活体験館	15人
9	木曽川にわたるカモを見よう	12月6日	9:00 ~	木曽川で野鳥観察を行う。	木曽川堤防周辺	6人
10	お正月の準備 (天候不良で実施なし)	12月19日	11:00	門松かざり、はたきづくり、まゆの家の掃除	生活体験館	0人
11	お正月の片づけ	1月11日	14:00 ~ 15:30	鏡開きをして、そのお餅でお汁粉を作って食べる。はたきづくりや門松の片付けをする。	生活体験館	12人
12	黒でかく「こい、うすい」	2月20日	10:00 ~ 12:00	田んぼプロジェクトで作った稲のワラで筆を作り、和紙に絵を描く。	工芸室	13人

□アートな1日講座

	名 称	期日	時間	講師	会場	参加者
1	モザイクアート	4月19日	13:00~16:00	アートボランティア	エントランスホール	20人
2	羊の彫刻づくり	5月17日	13:00~16:00	当館学芸員	工芸室	8人
3	陶芸(手びねりまたはろくろ)	6月14日	13:00~16:00	後藤秀樹氏	陶芸室	20人
4	とんぼ玉	7月26日	10:00~16:00	原崇志氏	工芸室	50人
5	陶芸(手びねりまたはろくろ)	8月23日	13:00~16:00	後藤秀樹氏	陶芸室	14人
6	木藤純子ワークショップ 光をおこす	9月27日	13:00~16:00	木藤純子氏	芝生広場	29人
7	版画で年賀状	10月18日	13:00~16:00	堀江良一氏	工芸室	19人
8	お菓子でつくるクリスマス	11月22日	13:00~16:00	当館学芸員	アトリエ	15人
9	高島純さんとクリスマスペーパークラフト	12月13日	13:00~16:00	高島純氏	エントランスホール	31人
10	坂井範一展関連講座 嘉久雛づくり	1月31日	13:00~16:00	当館学芸員	陶芸室	20人
11	カッティングコルク	2月28日	13:00~16:00	当館学芸員	工芸室	4人
12	陶芸(手びねりまたはろくろ)	3月28日	13:00~16:00	後藤秀樹氏	陶芸室	16人

□四季を食べる講座

	名 称	期日	時間	講師	会場	参加者
1	ごへいもち	4月19日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	19人
2	山菜おこわ	5月12日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	10人
3	手作り豆腐	5月17日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	20人
4	朴葉餅とこもどうふ	6月2日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	20人
5	梅の漬け方と梅料理	6月21日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	16人
6	ミョウガ寿司	7月7日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	18人
7	昔のおやつ	8月4日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	16人
8	手打ちうどん	9月1日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	20人
9	重陽の節句のごちそう	9月20日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	12人
10	わが家の常備菜	10月6日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	16人
11	七輪を囲む日	10月18日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	14人
12	へぼご飯	11月10日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	9人
13	おせち料理	12月1日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	21人
14	手作りみそとみそ料理	2月2日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	20人
15	春の祭のごちそう	2月21日	10:00~ 13:00	伝承料理の会	生活体験館	13人

□くらし体験講座

	名 称	期日	時間	講師	参加者
1	鯉のぼり立て	4月18日～5月6日	-	生活体験ボランティア	自由観覧
2	季節を染める「春を染める」	4月25日	10:00～15:00	生活体験ボランティア	12人
3	お茶摘み体験	5月3日	10:00～14:00	生活体験ボランティア	12人
4	七夕かざり	6月20日～7月7日	-	生活体験ボランティア	自由観覧
5	蚕とまゆ展開連講座「真綿づくり」	7月4日	10:00～12:00	生活体験ボランティア	16人
6	蚊帳つり	7月18日～8月30日	-	生活体験ボランティア	自由観覧
7	季節を染める「夏を染める」	8月1日	10:00～15:00	生活体験ボランティア	17人
8	みのづくり	8月8日	10:00～12:00	生活体験ボランティア	12人
9	季節を染める「秋を染める」	9月26日	10:00～15:00	生活体験ボランティア	11人
10	季節を染める「冬を染める」	12月5日	10:00～15:00	生活体験ボランティア	11人
11	門松かざり	12月19日～1月11日	-	生活体験ボランティア	自由観覧
12	暮ラシカル道具展開連講座「みのづくり」	2月6日	13:30～15:30	生活体験ボランティア	12人
13	まゆびなづくり	2月20日	13:30～15:30	生活体験ボランティア	14人
14	ひなかざり	2月20日～3月3日	-	生活体験ボランティア	自由観覧

□夏休み子ども講座

	名 称	期日	時間	講師	会場	参加者
1	ナイトサファリ	7月24日	19:00～21:00	自然史研究会	集合:文化の森	18人
2	ゴツゴツきらきら岩石探し	7月31日	10:00～11:30	自然史研究会	文化の森周辺	13人
3	自分だけの 植物標本をつくらう!①	7月30日	9:30～12:00	自然史研究会	文化の森周辺	9人
	自分だけの 植物標本をつくらう!②	8月4日	9:30～12:00	自然史研究会	文化の森周辺	7人
4	チリメンモンスターを探せ!	8月6日	14:00～15:00	自然史研究会	文化の森周辺	17人
5	まだ、間に合う! 昆虫標本を学ぼう!	8月23日	13:30～14:30	自然史研究会	文化の森周辺	8人

学校活用

□学校活用状況

・活動実施日総数

21年度 計 116日 活動可能日 計153日 利用率75.82%

(20年度 計 115日 活動可能日 計148日 利用率77.70%)

(単位:人)

月	利用者数	団体数	学級数	学年数	給食	学習支援 ボランティア
4	209	6	9	13	0	11
5	768	14	28	17	0	24
6	995	17	33	25	1	28
7	570	11	22	14	0	19
8	79	2	2	2	0	0
9	344	6	13	6	0	15
10	1,056	22	38	24	0	28
11	895	14	31	17	1	21
12	704	17	27	29	0	17
1	754	14	31	18	1	12
2	741	13	25	20	2	16
3	301	5	12	14	0	3
合計	7,416	141	271	199	5	194

※参考：生活体験、伝承料理、展示ガイドなど含めた全ボランティアさんの参加人数合計 289人

・【内 訳】

	幼・ 保育園	小 学校	中 学校	■ 利 用 者 数	幼・ 保 育 園	小 学 校	中 学 校	■ 団 体 数	■ 同 日 に 複 数 校 利 用 日 数
21年度 総数	342	6,793	281	7,416	11	122	8	141	21
20年度 総数	431	7,820	292	8,543	11	120	17	148	23

□博学連携フォーラム

	名称	期日	時間	内容	会場	参加者
1	博学連携フォーラム ～文化の森での活動で子どもたちが感じること～	10/2	9:00-15:00	○公開授業 社会「古い道具と昔の暮らし」 ○意見交換会 ・公開授業を振り返る ・「文化の森 学習アンケート (6年生)」についての報告 ・参加者によるディスカッション	生活体験館 工芸室	130人

□全学習内容

※総合＝総合的な学習の時間 図工＝図画工作 生単＝生活単元 特活＝特別活動 「」は単元名

月	日	曜	学校・学年	学 習 内 容
4	15	水	山手小特別支援	生単「たけのこ掘りをしよう」:たけのこ掘り、ヨモギ団子とたけのこの試食 図工:「たけのこを描こう」墨絵
	17	金	山之上小6年	社会「米づくりのむらから古墳のくにへ」:常設展示室・住居跡・土器整理室見学、縄文土器作り
	21	火	蜂屋小3年	図工「切って切ってトントントン」:小刀で鉛筆作り 社会「わたしたちのまち みのかも」:方位磁針 国語「きつつきの商売」:音読
	22	水	伊深小6年	社会「米づくりのむらから古墳のくにへ」:常設展示室・住居跡・土器整理室見学、遺物探し、お守り作り
	23	木	古井小特別支援	生単「たけのこ掘りをしよう」:たけのこ掘り、山菜探し、たけのこの試食「昔の遊び」竹馬、竹ぼっくり
	30	木	山手小6年	社会「米づくりのむらから 古墳のくにへ」:常設展示室・土器整理室・住居跡見学、遺物探し
5	1	金	三和小5・6年	社会「米づくりのむらから 古墳のくにへ」:常設展示室見学、縄文・弥生土器作り、春のオリエンテーリング
			太田小6年	社会「古墳時代から奈良時代へ」:遺物探し、常設展示室・整理室見学 総合「日本の文化を知る」:墨絵体験、茶の湯体験
	8	金	太田小3年	社会「わたしたちのまち みんなのまち」:方位磁針 国語「きつつきの商売」:こすりだし 理科「チョウをそだてよう」:昆虫の話
	13	水	古井小4年	社会「ごみの処理と利用」:昔のごみとごみの処理、ささゆりクリーンパーク見学
	14	木	下米田小6年	社会「米づくりのむらから 古墳のくにへ」:常設展示室・土器整理室・住居跡見学、遺物探し、縄文土器作り
			美濃加茂中1年	総合「地域を知る」:常設展示室・企画展示室・生活体験館・民具展示館見学
	15	金	蜂屋小6年	社会「米づくりのむらから古墳のくにへ」:縄文土器づくり、常設展示室・土器整理室・住居跡見学、遺物探し
	19	火	伊深小5年	総合「知恵を引き継ぐ」:五平餅づくり、民具展示館見学
	20	水	山之上小2年	生活「はるのずかん」:お茶摘み体験、たんぼぼで遊ぶ
	21	木	三和小1・2年	生活「自然がいっぱいー木の葉の調理と生きものさがしー」:木の葉試食、森の虫さがし
	22	金	太田小特別支援	総合「五平もち作り」:五平もち作り、文化の森探検
27	水	山手小2年	生活「みんなででかけよう」:虫のお話、南の森ビンゴ 国語「たんぼぼのちえ」:たんぼぼであそぶ	
28	木	下米田小4年	社会「ごみのしよ理と利用」:ささゆりクリーンパーク見学、昔のゴミの処理の話	
29	金	古井小2年	生活「みんなで でかけよう」「どきどき まちたんけん」:たんぼぼのお話、虫のお話、南の森ビンゴ	
6	2	火	太田小5年	総合「長生きすてき」:保存食の話、げんこつ作り、昔の衣類の話
	3	水	古井小4年	社会「水はどこから」:昔の水の話、山之上浄水場の見学
	4	木	山之上小4年	社会「ごみのしよ理と利用」:ささゆりクリーンパーク見学、昔のゴミの処理の話
			蜂屋小5年	社会「わたしたちの生活と食料生産」:かまどでご飯、まきわり体験、民具展示館見学
	9	火	加茂野小1年	生活「なかよく あそぼう」:常設展示室見学、森の散策、民具展示館見学、タワー見学、読み聞かせ
	10	水	伊深小3年	社会「わたしたちのまちみんなのまち」:タワー見学、太田駅や商店街見学、市役所見学 理科「昆虫をしらべよう」:昆虫の話
	11	木	三和小3・4年	社会「ごみのしよ理と利用」:昔のごみの話 理科「昆虫のからだのつくり」:昆虫のお話
			蜂屋小特別支援	生単「かまどでごはん」:かまどでご飯を炊く、薪割り体験
	12	金	山手小1年	生活「なかよく あそぼう」:まゆの家で遊ぶ、タワーに上る、常設展示室見学、森たんけん
	16	火	下米田小3年	理科「こん虫をそだてよう」:チョウの学習 社会「わたしたちのまち みのかも」:タワー見学、フィールドビンゴ
	17	水	蜂屋小4年	社会「ごみのしよ理と利用」:ささゆりクリーンパーク見学、文化の森のごみの話
	18	木	山之上小1年	生活「なかよく あそぼう」:まゆの家で遊ぶ、館内たんけん、森たんけん
	19	金	山手小3年	理科「こん虫をそだてよう」社会「わたしたちのまちみのかも」:チョウの学習、タワー見学
	24	水	加茂野小6年	社会・総合「日本の文化を体験しよう」:茶の湯体験、生け花体験、墨絵体験
25	木	エスペランサ	生活「にほんごクロスワード」:「日本の昔からのあそび」:名札づくり、にほんごクロスワード、日本の昔からの遊び	
26	金	白川町黒川小6年	総合「昔の黒川」:常設展示室見学、縄文土器作り、住居跡の見学	
30	火	蜂屋小3年	社会「市のようす」:市役所見学、美濃太田駅見学、山之上なし畑見学、タワー見学、みのかもすごろく	
7	1	水	東中特別支援	生単「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱのお皿作り
	2	木	山之上小3年	社会「市のようす」:美濃加茂市内の施設等見学、市役所見学、タワー見学、みのかもすごろく
	3	金	蜂屋小2年	図工「かたおし かたぬき」葉っぱのお皿作り
	7	火	加茂野小4年	社会「水はどこから」:水道が引かれる前の水の話
	8	水	西中特別支援	生単「お茶・墨絵体験」:墨絵体験、茶の湯体験
	9	木	関市むげがわ保育園	「葉っぱのお皿づくり」:葉っぱのお皿作り
	10	金	双葉中1年	総合「文化の森活動」:デジタルアート作成、まが玉作り、有用植物についての話
14	火	三和小3・4年	社会「水はどこから」:水道が引かれる前の水の話	

7	14	火	蜂屋小5年	理科「水の中の生きもの」総合「福祉」:水の中の生きもの採集、顕微鏡での観察、手話サークルの方との交流
	15	水	蜂屋小4年	社会「水はどこから」:水道が引かれる前のお話、文化の森の水の施設調べ
	24	金	美濃市かえで保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り
8	21	金	古井第一保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り
	28	金	太田第二保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り
9	3	木	関市坂取めばえ保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り
	9	水	可児市東明小2年	図工(総合)「葉っぱのお皿」国語「読み聞かせ」:人形劇から声のドラマの会の方の読み聞かせ、あおむしの工作
	10	木	伊深小4年	社会「古い道具と昔の暮らし」:洗濯板、炭火アイロン、石臼、鯉節削り、なべ焼き体験
	16	水	蜂屋小3年	社会「スーパーではたらく人」:バックヤードの見学。図工「土鈴作り」
	29	火	太田小1年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:秋みつけ、どんぐりごまづくり、企画展見学
	30	水	古井小4年	社会「古い道具と昔の暮らし」:七厘で餅焼き、洗濯・アイロン体験、道具探検
10	1	木	山之上小6年	理科「大地のつくり」:水のはたらきでできた地層の見学、火山のはたらきでできた地層の見学、常設展示室の見学
	2	金	蜂屋小4年	社会「古い道具と昔の暮らし」:洗濯・アイロン体験、まゆの家道具探検、なべやき作り
	6	火	下米田小6年	理科「大地のつくり」:化石レプリカ作り、化石林公園見学、水と火山のはたらきでできた地層見学
	7	水	岐阜市長森東小1年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:森の散策、秋のおもちゃ作り、常設展示室見学、森のタワーの見学、読み聞かせ
	9	金	蜂屋小6年	理科「大地のつくりと変化」:化石レプリカ作り、化石林公園見学、水と火山のはたらきでできた地層見学
			八百津町和知小3年	社会「火事がおきたら」:高いところからながめる」:文化の森の消火器調べ、タワー見学
	14	水	古井小6年	理科「大地のつくりと変化」:化石林公園の見学、文化の森周辺の地層見学、化石レプリカ作り
			西中特別支援	「職場体験」:焚きつけひろい、どんぐり拾い。「バームクーヘン作り」:炭火と竹を使ったバームクーヘン作り
	15	木	太田小3年	生活「秋みつけビンゴ」 社会「工場ではたらく人、農家の人」:山之上果樹園見学
	16	金	山之上小2年	生活「まちのやさしさをさがしてみよう」:文化の森のやさしみつけビンゴ、企画展の見学
			川辺町川辺西小4年	社会「古い道具と昔の暮らし」:洗濯・炭火アイロン体験、まゆの家道具探検、七厘でなべやき作り
	20	火	伊深小1年	生活「あきをさがしにいこう」:アサガオのつるをつかった秋のリース作り、文化の森たんけん
	21	水	伊深小6年	社会「大地のつくりと変化」:水・火山のはたらきでできた地層の見学、常設展示室の見学
			双葉中1年	総合的な学習の時間「地域を知る」:縄文人の食を体験しよう、シェイクスピアを演じてみよう、器を作ろう
	22	木	下米田小5年	理科「流れる川のはたらき」:川浦川の見学、木曾川の見学
			関市洞戸保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り
	23	金	蜂屋小5年	理科「流れる川のはたらき」:川浦川の見学、木曾川の見学
			白川町佐見小1年	生活「つくってあそぼう」:どんぐりごま、けん玉、リース、壁掛け作り
	28	水	山手小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川見学
			黒川小2年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:森の散策、秋のおもちゃ作り、文化の森たんけん
29	木	加茂野小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川見学	
30	金	山之上小3年	社会「スーパーや工場ではたらく人々」:スーパー・工場見学	
11	4	水	蜂屋小1年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:秋の森たんけん、どんぐりごま作り、秋のおもちゃ作り
			白川町黒川小1年	図工「はっぱのへんしん」:森たんけん、材料集め、はっぱのお面作り
	5	木	御嵩町御嵩小1年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:森たんけん、材料集め、秋のおもちゃ作り
	10	火	エスペランサ	生単「日本語で遊ぼう」秋みつけ「日本の昔からの遊び」:色オニゲーム、ラフンの飛行機づくり、竹馬、リム回し
	11	水	山手小6年年	理科「大地のつくりと変化」:水・火山のはたらきでできた地層の見学、化石林公園の見学
	12	木	下米田小4年	社会「古い道具と昔の暮らし」:洗濯・炭火アイロン体験、まゆの家道具たんけん、石臼・鯉節削り体験
	17	火	古井第二保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り
	18	水	古井小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川見学
	19	木	下米田小2年	生活「みんなでつくりようフェスティバル」:森の散策、材料集め、リース作り、タワー見学、常設展示室見学、秋の森ビンゴ
	25	水	山手小1年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:森の散策、材料集め、葉っぱのへんそう、まつぼっくりツリーづくり
			伊深小5年	理科「流れる水のはたらき」:川浦川・木曾川の見学。総合「稲を育てる」:古代米の精米
	26	木	太田小5年	総合「お年よりから学ぶ」:(枝)竹とんぼ作り、(知)はたき・雑巾作り、まゆの家のお掃除、(心)お年よりへのインタビュー
	27	金	可児市南帷子小5年	理科「流れる水のはたらき」:木曾川の見学
			古井小3年	社会「わたしたちのまち みんなのまち」:タワーから見たみのかも、みのかもすぐろく、文化の森の消化設備

12	1	火	蜂屋小2年	図工「あつめてかざって たからもの」:材料集め、どんぐりごま作り、秋のリース作り
	2	水	伊深小2年	生活「あきのものでつくろう」:森の散策、材料集め、秋のかざり作り、文化の森たんけん
			可児市旭小1年	生活「あきのものでつくろう」:秋のおもちゃ作り、どんぐりヘリコプター作り、常設展示室見学、タワー見学
	3	木	下米田小3年	社会「スーパーマーケットや工場で働く人」:秋のフィールドビンゴ
			八百津町八百津小1年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:秋のおもちゃ作り、文化の森たんけん
	4	金	七宗町上麻生小1・2年	生活「はっぱのいろがかわったよ」:秋みつけビンゴ、材料集め、秋のおもちゃづくり、秋の額縁作り
	8	火	太田小特別支援	生単「焼けたよお芋」:焼き芋、芋ご飯、味噌汁作り、芋版づくり
	9	水	山之上小5年	総合「五平もちづくり」:五平もちづくり、かまどのお話、薪割り体験
	10	木	山手小特支	生活「バウムクーヘン作り」:バウムクーヘン作り
	11	金	蘇南中校区特別支援	生単「粘土の作品づくり」
	16	水	可児市旭小4年	社会「古い道具と昔のくらし」:洗濯・炭火アイロン体験、まゆの家道具探検、七厘で餅焼き、薪割り体験、鯉節体験
17	木	蜂屋小5年	総合「バリアフリー」:バリアフリーみつけ	
18	金	加茂野保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り	
24	木	蜂屋保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り	
1	8	金	伊深保育園	「葉っぱのお皿作り」:葉っぱのお皿作り
	13	水	三和小1・2年	生活「冬の遊び」:たこ作り、コマ・お手玉・けんだま遊び
	14	木	古井小1年	生活「昔の遊び」:ぶんぶんごま作り。国語「たぬきの糸車」:朗読を聞く、糸車とまゆの家たんけん、文化の森たんけん
	15	金	山之上小1年	生活「昔の遊び」:ぶんぶんごま作り。国語「たぬきの糸車」:朗読を聞く、糸車とまゆの家たんけん
	19	火	蜂屋小2年	生活「やさいをそだてよう～収穫した大豆できな粉もち作り」:きな粉作り、きな粉もち作り
			三和小5・6年	理科「流れる水のはたらき」:猿飛川の見学、牛牧川の見学、木曾川の見学
	20	水	加茂野小3年	社会「くらしを守る」:中消防署見学、文化の森の消火設備調べ
			西中特別支援	生単「餅つき体験」:石臼で餅をつく、餅をちぎる、試食、後片付け
	21	木	太田第一保育園	卒園制作「親子で葉っぱのお皿づくり」
			可児市南帷子小3年	「文化の森の見学」:暮らしカルド具展見学、常設展示室見学、タワー見学
	22	金	伊深小3年	社会「くらしを守る」:中消防署見学、文化の森の消火設備調べ
	27	水	山手小4年	社会「古い道具と昔のくらし」:洗濯体験、七厘で火熾し・炭火アイロン体験、暮らしカルド具展10'・民具展示館見学
	28	木	太田小2年	生活「やさしさみつけ」:やさしさ見つけ。図工「紙とんぼ作り」:紙とんぼ作り
29	金	関市安桜小4年	社会「古い道具と昔のくらし」:洗濯体験、炭火アイロン体験、七厘でもち焼き、薪割り体験、石臼体験、鯉節削り体験	
2	2	火	のぞみ教室	生単「竹とんぼづくり」:自己紹介と名札作り、竹とんぼ作り、こま回し、お手玉遊び、常設展示室見学、タワー見学
	3	水	太田小1年	国語「たぬきの糸車」:たぬきの糸車、ぶんぶんごま作り、昔の遊び(竹とんぼ、コマ)
	4	木	山之上小3年	図工「切って切ってトントントン」:小枝のえんぴつづくり
			山之上小4年	総合「加茂川」:加茂川の見学、見学まとめ
	5	金	蜂屋小3年	社会「くらしを守る」:中消防署見学、文化の森の消火設備調べ
	9	火	下米田小3年	社会「くらしを守る」:中消防署見学、文化の森の消火設備調べ
	10	水	伊深小4年	図工「ひもでつくろう」:粘土で作品づくり
	16	火	山手小4年	社会「福田太郎八とため池づくり」
	17	水	太田小4年	社会「古い道具と昔のくらし」:洗濯・七厘・炭火アイロン体験、暮らしカルド具展10' 見学、石臼・鯉節削り器体験、箱膳のお話
	18	木	古井小2年	国語「スーホの白い馬」:音読練習、発表。生活「冬のずかん」:南の森で冬の自然見つけ
24	水	蜂屋小特別支援	生活「もちつき体験」:昔の遊び、薪割り体験、石臼体験、きな粉餅作り	
25	木	加茂野小4年	社会「古い道具と昔のくらし」:洗濯体験、七厘で火熾し・炭火アイロン体験、暮らしカルド具展10' 見学、石臼・鯉節削り器体験	
26	金	山之上小5年	社会「曲げて ねじって」:粘土板をつくる、お皿作り	
3	2	火	山手小特別支援	生単「お別れパーティー ～ひな祭りを楽しもう～」:雛あられ・クッキー作り、折り紙で入れ物作り、お別れパーティー
	5	金	可児市桜ヶ丘小特別支援	生単「昼食づくり」:食材を包む、常設展示室・タワーの見学、昼食を食べる、後片付け
	10	水	加茂野小1年	国語「たぬきの糸車」:朗読を聞く、糸車体験、まゆの家探検 生活「みんなで楽しもう」:昔遊び、ぶんぶんごま作り、館内見学
	11	木	下米田小1年	国語「たぬきの糸車」:たぬきの糸車の朗読を聞く、糸車体験、まゆの家探検、ぶんぶんごま作り
12	金	加茂野小2年	国語「スーホの白い馬」:グループで音読練習、紙芝居を使った発表、声のドラマの会の方による「スーホの白い馬」の朗読	

収集・保存・整理・調査・その他

□ 資料収集、整理、活用

・ 寄贈美術品

作品名	作者	内容・技法等	寄贈者	作品名	作者	内容・技法等	寄贈者
朝顔	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人/中年男性二人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
中国風景	大矢峻嶺	紙本墨画	大矢千鶴子氏	写生(老人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
鳥	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
中国風景か	大矢峻嶺	紙本墨画	大矢千鶴子氏	写生(中年男性/老人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
風景(小下絵)	大矢峻嶺	紙本墨画	大矢千鶴子氏	写生(中年男性/青年)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
松に鶯	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(舞妓/中年男性)	大矢峻嶺	紙、墨、淡彩/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
雪景色	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人 紙片貼付有り)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
ツバメ	大矢峻嶺	紙本墨画淡彩	大矢千鶴子氏	写生(老人/中年女性)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
ツバメ	大矢峻嶺	紙本淡彩	大矢千鶴子氏	写生(老婆/若い女性)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
小槌図	大矢峻嶺	紙本墨画淡彩	大矢千鶴子氏	写生(青年/将校)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、墨、鉛筆	大矢千鶴子氏
雀図	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老婆/老人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
瓜に茄子図	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(中年男性/老夫婦)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、墨、鉛筆鉛筆	大矢千鶴子氏
鮎図	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老女/老女)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
竹に雀図	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人/赤ん坊)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、墨	大矢千鶴子氏
雀図	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
藁に鶯	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(馬に乗る軍人)	大矢峻嶺	紙、墨	大矢千鶴子氏
竹梅菊	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(若い女性/青年)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
竹梅菊	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(青年)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
老夫婦	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(中年男性/老人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
双鶴	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
雀図	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人/中年女性)	大矢峻嶺	紙、鉛筆/紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
梅に雀	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生(老人/老女)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
かきつばた	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	デッサン(帽子)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
お飾り	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	デッサン(グラス)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏
桜	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	習作(徳利と盃)	大矢峻嶺	紙、水彩	大矢千鶴子氏
梅に鶯	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	習作(鍋にマッチ)	大矢峻嶺	紙、水彩	大矢千鶴子氏
花鳥画(ナツグミ?)	大矢峻嶺	絹本着色	大矢千鶴子氏	習作(下駄)	大矢峻嶺	紙、水彩	大矢千鶴子氏
鶏	大矢峻嶺	紙本着色	大矢千鶴子氏	習作(本)	大矢峻嶺	紙、水彩	大矢千鶴子氏
風景	大矢峻嶺	絹本着色	大矢千鶴子氏	習作(ミニカー)	大矢峻嶺	紙、水彩	大矢千鶴子氏
寒山拾得	大矢峻嶺、梶浦逸外、川合米田	紙本墨画淡彩	大矢千鶴子氏	襖絵下絵 松	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏
				襖絵下絵	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏
鯛持人形	堀井香坡	紙本着色	大矢千鶴子氏	着物下絵 梅	大矢峻嶺	紙、鉛筆、墨、淡彩	大矢千鶴子氏
観音図	大矢峻嶺?	紙本墨画淡彩	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
菊に螭螂	不明	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	紙、墨、鉛筆、色鉛筆、水彩	大矢千鶴子氏
落款寄せ書き	不明	墨、紙	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆、墨	大矢千鶴子氏
紅葉葵	不明	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏
人物像	不明	紙本着色	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏
茶碗	大矢峻嶺	陶土	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏
写生帖 白菊、バラなど	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏
写生帖(兼メモ帳)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	写生帖	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏

茶碗	大矢峻嶺	絵、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(花)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏
スケッチブック	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	素描(茄子、かぼちゃなど)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
スケッチブック(中身なし)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	素描(双鶴、桔梗など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(花、茄子など/ バラ、菊など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(鮎、菊など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(オニユリ、茄子など /エビ、鯛など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(カーネーションなど)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ8枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆 *鼠のみ墨	大矢千鶴子氏	素描(びわ)	大矢峻嶺	墨、鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ8枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(バラ、龍、梅に雀など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ8枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(菊に鳥)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ8枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(菊に雀)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ8枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(つぼみ)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ7枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(カーネーション、福寿草など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(12ヶ月、裏面あり)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(筍)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(12ヶ月、裏面あり)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(いちじく)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(金魚、花)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(植物)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(すいか)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(バラ/竹)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(菜の花、蕨など 裏 面あり)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(満洛寺)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(あざみ、バラなど/ 桔梗、ハマナスなど)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(つぼに木瓜)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(山、水辺の風景)	大矢峻嶺	墨、鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(うさぎ、椿など/ あやめ、桔梗など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(山)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(大根、かぼちゃなど)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(松)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(龍/花)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(同サイズ5枚)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(菊)	大矢峻嶺	紙、墨、淡彩	大矢千鶴子氏	素描(同サイズ5枚)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(かけい)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(同サイズ5枚)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(ごくら、バラ)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(山車)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ2枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(竹、桔梗、蕨など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ6枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(芍薬、あざみなど)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(同サイズ2枚)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(紫陽花など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(妙高など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(桔梗など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(模写 栖鳳の馬か)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(筍、茄子など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(竹)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(富士山、雀など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(露草など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(椿、芍薬など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(松)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(鈴蘭など)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(桔梗など16種)	大矢峻嶺	鉛筆、水彩、紙	大矢千鶴子氏
素描(12ヶ月)	大矢峻嶺	紙、鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(鮎など3種)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(花)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(羊、3枚)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(鳥)	大矢峻嶺	紙、鉛筆、色鉛筆	大矢千鶴子氏	素描(4種)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(写生帖の一部か、6枚)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	素描(鳥・鯉、2枚)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏
素描(写生帖の一部か、5枚)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	赤河風景	坂井範一	水彩、鉛筆、紙	二村伊佐子氏
素描集(竹、12枚)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	良寛の歌	座馬井邨	墨書、紙	座馬井邨氏
素描(バラ、柿、水仙など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	坪内逍遙書簡幅	坪内逍遙	毛筆、巻紙	座馬井邨氏
素描集(クリップ留め17枚)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	バックル	坂井範一	七宝焼	長尾剛氏
素描集(クリップ留め47枚)	大矢峻嶺	鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	竹	坂井範一	紙本着色、鉄	木方阿里氏
素描(椿、柿、白菜など)	大矢峻嶺	鉛筆、色鉛筆、紙	大矢千鶴子氏	自画像	大矢峻嶺	水彩、紙	木本広子氏
蜂屋柿(金地)	坂井範一	色紙、墨、着色	坂井春那氏	デザイン1	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏

蜂屋柿	坂井範一	色紙、墨、着色	坂井春那氏	デザイン2	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
Organism	酒向絵美	セミクリスタル ガラス	酒向絵美氏	デザイン3	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
女性像	田中比左良	墨、着色、色紙	宇野眞理子氏	デザイン4	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
汐干びより	田中比左良	墨、着色、色紙	宇野眞理子氏	デザイン5	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
舞踏	田中比左良	ブロンズ	宇野眞理子氏	デザイン6	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
所作I	田中比左良	ブロンズ	宇野眞理子氏	デザイン7	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
所作II	田中比左良	ブロンズ	宇野眞理子氏	デザイン8	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
花		クレヨン、紙	宇野眞理子氏	デザイン9	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
風景画		油彩、キャンバス	宇野眞理子氏	デザイン10	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
初代朝潮関		ペン、紙	宇野眞理子氏	デザイン11	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏
三根山関		墨、紙	宇野眞理子氏	『彩雲』デザイン	坂井範一	色紙、画用紙	坂井春那氏

資料名	寄贈者	資料名	寄贈者
封書（大矢継次郎から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	はがき（八木月華から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏
封書（大矢継次郎から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	はがき（□井□水から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏
封書（西條隆治から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	はがき（斉藤紫山から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏
封書（安立玉樹から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	はがき（差出人不明から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏
封書（平之亮禪から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	はがき（差出人不明から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏
封書（梶浦逸外から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	文箱（硯、墨）	大矢千鶴子氏
封書（梶浦逸外から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	色鉛筆（布袋入り）	大矢千鶴子氏
封書（山下祥司から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	作品絵葉書（12枚）	大矢千鶴子氏
封書（桑原から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	作品絵葉書（三幅）	大矢千鶴子氏
封書（三木□□から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	作品絵葉書（虎）	大矢千鶴子氏
封書（北上聖牛から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	平安桜楓会アルバム	大矢千鶴子氏
封書（山本紅雲から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	平安桜楓会展記念写真	大矢千鶴子氏
封書（竹内四朗から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	平安桜楓会展出品作品写真	大矢千鶴子氏
封書（□□東山から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	作品写真	大矢千鶴子氏
封書（星野空外から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	唄う峻嶺の写真	大矢千鶴子氏
封書（石川龍三から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	メモ帖（中国旅行持参か）	大矢千鶴子氏
封書（東京美術文庫から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	後援会帖	大矢千鶴子氏
はがき（千宗興から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	筆代代（千宗興から峻嶺へ、封筒入）	大矢千鶴子氏
はがき（千宗興から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	菓子代（千宗興から峻嶺へ、封筒入）	大矢千鶴子氏
はがき（千宗興から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	催告状（原稿用紙）	大矢千鶴子氏
はがき（近藤宣彦から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	スクラップブック	大矢千鶴子氏
はがき（長縄霞堂から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	現代日本美術家年鑑昭和44年版（書籍）	大矢千鶴子氏
はがき（伊藤直治郎から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	坂井範一 書付ノート	小倉美千子氏
はがき（梶浦逸外から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	坂井範一 デザイン『随想』紙袋	坂井春那氏
はがき（米山人から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	坂井範一 デザイン「キツネ」包装紙	坂井春那氏
はがき（樋口樹三から大矢峻嶺宛て）	大矢千鶴子氏	イサム・ノグチ デザイン あかり	吉村正義氏

名 称	寄 贈 者 氏 名	員 数	名 称	寄 贈 者 氏 名	員 数
市制50周年記念印鑑	美濃加茂市役所	1	カンイソウシキ	岐阜県生物工学研究所	1
算盤	個人	4	サイソウキ	〃	1
タライ	日比野ゆき氏	1	毛羽取り機	〃	1
釜	〃	1	イチリュウソウキ	〃	1

蚕種貯蔵函	佐光壽氏	1	検位衡	岐阜県生物工学研究所	1
温度計	個人	1	検尺機	〃	1
ライター・灰皿	〃	1	消毒用ホルマリン容器	〃	1
ライター	〃	1	カルトン	〃	1
行李	〃	1	電気コンロ	〃	1
カメラ	〃	1	比重計	〃	1
帯（子供用）	〃	1	おろし金	〃	1
鉢	〃	1	微粒子病検査用顕微鏡	〃	1
時計	〃	1	解剖顕微鏡	〃	1
裯天（夏用）（冬用）	佐合正義氏	2	解剖顕微鏡	〃	1
イアミ	個人	37	リッター杵	〃	1
竹ザル	〃	2	蚕卵台紙収容具	〃	1
ムギツチイレキ	〃	1	催青枠（一部）	〃	1
クワ	〃	1	羽ぼうき	〃	4
ジョレン	〃	1	蚕箔	〃	3
チリトリ	〃	1	給桑台	〃	2
田の草とり機	〃	1	真綿製造用掛枠	〃	1
輪（遊具）	堀部一男氏	1	繭（標本）	〃	1
ヘラ	渡辺誠治氏	2	機織り機	〃	1
コテ	〃	5	計数器	〃	2
電気アイロン	〃	1	噴霧器	〃	1
シンシバリ（一部）	〃	1	包丁	〃	1
台秤	岐阜県生物工学研究所	1	脱繭機（一部）	〃	1
台秤	〃	1	フルイ	〃	1
ジキオンシツドケイ	〃	1	カマ	〃	1
ジキオンシツドケイ	〃	1	しゃもじ	〃	1
自動台秤	〃	1	生糸	〃	1
台秤	〃	1	絹織物	〃	1
カードキ	〃	1	絹糸	〃	1

□各種資料の収集・公開状況

・購入資料

美術作品：土の音（渡辺泰幸作）、Photo Painting「叢 06-10.12」（川井昭夫作）、薫風Ⅱ（中山尚子作）、
あかり5点（イサム・ノグチのデザイン）

歴史資料：「美濃国地理明細全図」、『大日本輿地便覧 乾坤』、「筆はじめ底知らずの湖」（坪内逍遙著）、『シェイク
スピア全集』（セカンド・フォリオ ファクシミリ）、『文藝協會の趣旨及び會則』、『木曾路巡覧記』

・文化の森ホームページの公開状況

	歴史	民俗	図書	美術	歴史写真	広報写真	植物	動物	考古	合計
H21 年度	16,058	4,296	19,000	644	1,543	512	4,557	4,573	3,018	54,201

・資料・作品の貸し出し状況

	歴史	民俗	図書	美術	植物	動物	考古	画像	その他	合計
H21 年度	44	3	1	0	0	0	0	54	37	139

□資料保存

・燻蒸作業

資料燻蒸は専門業者へ委託。移動燻蒸車による燻蒸作業を2回実施（8月1日～3日、3月27日～29日）。
移動燻蒸車の容量約82.8m³。薬剤：フッ化スルフリル。

・モニタリング調査

8月1日～14日・3月15日～29日 収蔵庫や展示室等を中心とする館内に粘着トラップを設置。実施結果：資料に加害するシミ類やチャタテが捕獲されたが、収蔵・展示エリアに大きな影響はなかった。

□博物館実習

平成21年7月28日(火)～8月1日(土)

日程	時限	内容案	場所	内容	備考	控室
7/28 (火)	1	オリエンテーション,館内見学	館内、外	見学		陶芸室
	2	学芸員と博物館の仕事	陶芸室	講義		
	3・4	展覧会の企画と運営	企画展示室 ほか	実習		
7/29 (水)	1・2	屋外彫刻の整備	館外(前平公園)	実習		陶芸室
	3・4	子どもたちと博物館	エントランスホール ほか	実習・講義	ふらっとみゅーじあむ 「さいころパズル」 自然資料の取扱いと整理や 標本講座の段取り	
7/30 (木)	1・2	標本講座	文化の森内	実習		工芸室
	3・4	収蔵庫の環境と管理	収蔵庫1・2	実習		
7/31 (金)	1・2	学習活動(体験講座)の運営	館外	実習	夏休み子ども講座 「ゴツゴツきらきら岩石探し」	会議室
	3	地学資料の整理	収蔵庫4	見学・実習	岩石、化石	
	4	博物館資料の取扱いと整理	収蔵庫ほか	実習	軸の扱い	
8/1 (土)	1・2	虫菌害対策	別棟収蔵庫 ほか	実習	燻蒸作業、IPM への取り組み	工芸室
	3	博物館と市民参画	まゆの家ほか	見学・講義	くらし体験講座「夏を染める」	
	4	実習レポートの作成	—	—	植物標本を渡す	

岐阜大学(2名)、岐阜聖徳学園大学(2名)、岐阜女子大学(2名)、京都府立大学(1名)

□刊行物

図書名	価格	発行年	判型	頁数
ふるさとファイルNo.14 ていねいな暮らしのあったころ 佐野一彦の撮った伊深の里山	200円	2009年12月	A5	18
Calling 木藤純子 記録集	100円	2010年2月	A5	14
すきなものを すきなように 坂井範一展図録	800円	2001年2月	A4	51
みのかも文化の森 年報 Vol.9	—	2010年3月	A4	41
美濃加茂市民ミュージアム研究紀要 第9集	500円	2010年3月	A4	45

□報道関係に掲載・紹介された状況

	新聞	雑誌等	その他(テレビ、ラジオなど)
展覧会	55件	53件	10件
講座	27件	137件	4件
イベント	44件	54件	1件
その他	9件	0件	8件

施設の利用状況

文化の森施設の利用状況

□文化の森利用者数

(単位:人)

内訳 月	常設展	企画・資料紹介展	学習活用	教育相談等	貸館	講座・イベント等	情報学習室	視察	市民活動	その他	合計
4月	1,632	100	209	156	2,290	746	17	0	197	535	5,882
5月	2,053	457	768	230	1,796	336	28	0	286	595	6,549
6月	1,544	197	995	226	3,576	578	14	13	277	742	8,162
7月	1,867	206	570	182	1,490	576	15	86	206	520	5,718
8月	2,008	490	79	187	1,150	720	56	0	155	485	5,330
9月	2,404	508	344	236	2,920	2,713	150	0	203	948	10,426
10月	2,065	1,071	1,056	174	2,559	1,312	0	20	264	852	9,373
11月	1,571	1,419	895	199	2,408	214	0	0	222	693	7,621
12月	2,014	578	704	199	1,178	2,984	0	139	209	801	8,806
1月	1,499	1,662	754	172	1,388	268	2	0	119	586	6,450
2月	1,317	551	741	212	1,991	202	1	0	186	520	5,721
3月	1,347	374	301	239	1,651	1,272	1	20	193	540	5,938
合計	21,321	7,613	7,416	2,412	24,397	11,921	284	278	2,517	7,817	85,976

*講座イベント等の人数は□催し物・コンサート等、□定期講座・行事、□09 博学連携フォーラムの合計

□津田左右吉博士記念館利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	273	216	302	307	161	253	257	247	141	156	136	323	2,772

□旧太田脇本陣林家住宅隠居家入場者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	824	1,235	637	840	687	1,158	2,574	1,043	634	597	647	1,412	12,288

□市民の展示活動等

	内 容	団 体	期 日	会 場	入場者
1	写真作品展示	ラインフォトクラブ	4月9日～4月12日	市民ギャラリー	500
2	山野草展	美草会	4月10日～4月12日	エントランスホール	450
3	山野草展	美草会	6月5日～6月7日	エントランスホール	520
4	美濃加茂市美術連盟展	美濃加茂市美術連盟	6月13日～6月21日	市民ギャラリー	1,075
5	油絵作品展示	絵歩里サークル	6月28日～7月5日	展示ホール	593
6	絵画作品展示	くろの美術教室	10月1日～10月4日	展示ホール・エントランス	30
7	写真作品展示	フォト白川支部	10月8日～10月11日	市民ギャラリー	17
8	山野草展	美草会	10月16日～10月18日	エントランスホール	450
9	作品展示	美濃加茂市文化団体連盟	10月28日～11月8日	展示ホール	650
10	銅版画作品展示	プリンツ	10月29日～11月1日	市民ギャラリー	209
11	山野草展	美草会	1月8日～1月10日	エントランスホール	380
12	書の作品展	桂之会	3月26日～3月28日	市民ギャラリー	150

組織・構成・その他

□職員

美濃加茂市民ミュージアム館長 1名
(兼美濃加茂市市民協働部文化振興課長)
庶務係 3名
学芸係 6名
学習係 4名

□協議会・委員

みのかも文化の森運営協議会 10名
市民ミュージアム専門委員 4名
文化の森活用委員会 13名

□ボランティア活動状況

みのかも文化の森のボランティア

名 称	登録数	主 な 活 動 内 容
展示ガイドボランティア	14 人	展示室で解説に加え、地域の調査・ミニ展示などを行う
アートボランティア	18 人	展示会関連企画や講座のサポートなどを行う
生活体験ボランティア	40 人	生活体験館で昔の遊びや暮らし体験などを行う
学習支援ボランティア	25 人	学校活用での子どもたちの指導や昔の遊び体験などを行う
伝承料理ボランティア	51 人	四季を食べる講座の開催や伝統的な食べ物の記録などを行う
イベントボランティア	19 人	文化の森で行うコンサートや演劇などでのサポート
合 計	167 人	

□かるちすとくらぶ

「みのかも かるちすと くらぶ」は、みのかも文化の森と美濃加茂市文化会館共通の友の会です。催しについての情報は、郵送でご自宅までお届けします。

主な特典は、市民ミュージアムの情報誌「ミュージアムニュース」や「文化会館だより」の郵送。市民ミュージアム企画展の観覧料が無料や文化会館自主事業の先行予約、入場料割引など。さらに、入会されますと、裏面がスタンプカードの会員証をお渡しし、スタンプは、文化会館自主事業への参加は2ポイント、文化の森・市民ミュージアム有料企画展（会員は無料）をご覧になった時1ポイントを押印します。団体料金でご覧いただけます。6ポイントたまったら、みのかも文化の森のティールーム「ベリー」のドリンク券をプレゼントします。また、入会時には、ティールーム「ベリー」のドリンク券プレゼント、12月に絵本作家高畠純氏のオリジナルカレンダーもプレゼントします。年会費は、1,200円です。

手続き方法はみのかも文化の森、美濃加茂市文化会館にある申込用紙に必要事項をご記入の上、会費をそえてお申し込みいただきます。会員証（裏面がスタンプカード）をお渡しいたします。

森のアンケート 集計

この集計は「逍遙生誕150年記念」展、「なつやすみ歴史探検-考古学にふれる-」展、「木籐純子」展、「ていねいな暮らしのあった頃-佐野一彦の撮ったくらし-」展、「すきなものをすきなように 坂井範一」展の来場者によるアンケート結果を基にまとめたものです。

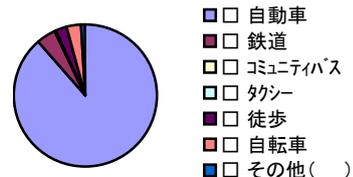
1. どちらからお越しですか？

- 美濃加茂市内 105
- 市外の岐阜県内(市・町・村) 129
- 岐阜県外() 34



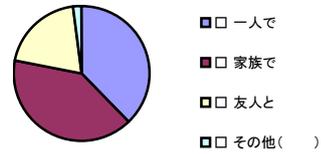
2. どのようにお越しになりましたか？(複数回答)

- 自動車 238
- 鉄道 12
- コミュニティバス 0
- タクシー 1
- 徒歩 7
- 自転車 9
- その他() 2



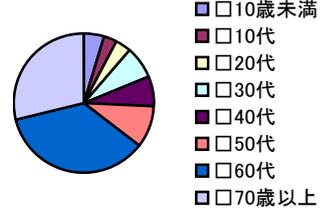
3. どなたとご来館されましたか？

- 一人で 101
- 家族で 108
- 友人と 54
- その他() 5



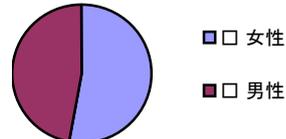
4. あなたの年齢は？

- 10歳未満 13
- 10代 8
- 20代 10
- 30代 20
- 40代 19
- 50代 26
- 60代 96
- 70歳以上 78



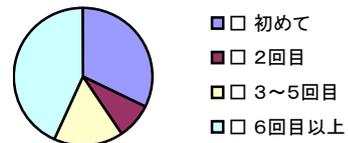
5. あなたの性別は？

- 女性 141
- 男性 126



6. 何回目のご来館になりますか？

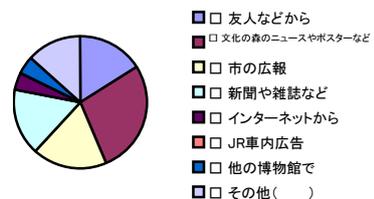
- 初めて 86
- 2回目 23
- 3~5回目 43
- 6回目以上 116



7. 展示(企画展)についてお聞かせください。

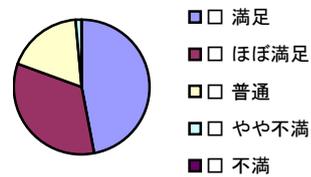
① 企画展を何でお知りになりましたか？(複数回答可)

- 友人などから 65
- 文化の森のニュースやポスターなど 112
- 市の広報 73
- 新聞や雑誌など 67
- インターネットから 17
- JR車内広告 0
- 他の博物館で 18
- その他() 54



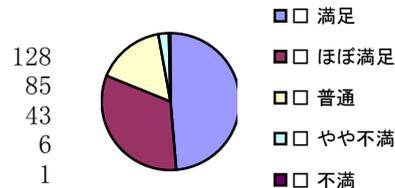
② 展示の資料・作品の見やすさ(配置、明るさ、空間など)にご満足いただけましたか？

- 満足 185
- ほぼ満足 132
- 普通 72
- やや不満 5
- 不満 0



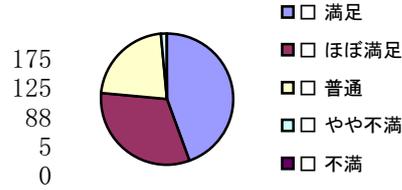
③ 展示の資料・作品のわかりやすさ(解説、説明、パネルなど)にご満足いただけましたか?

- 満足
- ほぼ満足
- 普通
- やや不満
- 不満



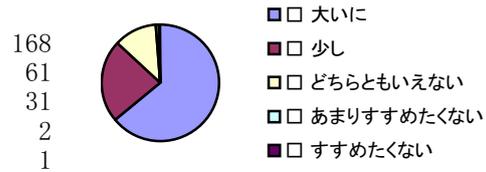
④ 展示の資料・作品から満足感(感動、発見、知的刺激など)が得られましたか?

- 満足
- ほぼ満足
- 普通
- やや不満
- 不満



⑤ この展示を他の人に伝え、来館をすすめたいと思いませんか?

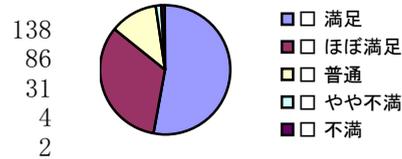
- 大いに
- 少し
- どちらともいえない
- あまりすすめたくない
- すすめたくない



8. 館の施設や対応についてお聞かせください。

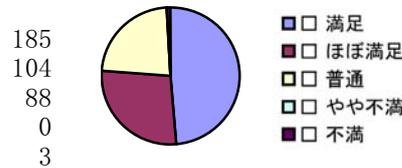
① 施設の雰囲気や美観などにご満足いただけましたか?

- 満足
- ほぼ満足
- 普通
- やや不満
- 不満



② スタッフの対応(総合案内、会場内、他のスタッフなど)にご満足いただけましたか?

- 満足
- ほぼ満足
- 普通
- やや不満
- 不満



アンケートに回答のあった主なご意見・ご要望

- ・採集された遺物の展示、石器(石材)の素晴らしさに驚いております。また、子供たちの考古に対する態度などに感心しました。これからのこのような企画をぜひ続けていただきたいと思えます。
- ・とても分りやすく、見やすい展示でした。
- ・初めてお邪魔しましたが、静かできれいで広くてすばらしい森に感動しました。
- ・子供たちの作品が展示され、次代へもつなげる展示が行われており、参考になりました。今後もすばらしい展示を期待します。
- ・非常に高度に分類され難しいところもありましたが、考古学のすばらしさ、奥深さに驚きました。触られないのが残念!
- ・私も現在65歳。写真の多くは記憶にあるものばかりです。しかし、このように写真にまとめられ整理されたことに敬意を表します。道具も同様に展示されると更に良かったと思えました。
- ・昔のくらしがよく分り、とても懐かしく見させていただき、ありがとうございました。
- ・子供から大人まで見て欲しい展示だと思います。
- ・とても懐かしく思いました。伊深町に住み、うれしくなりました。
- ・昔の人の暮らしがよく分った!
- ・とてもなつかしく拝見しました。つつましくも豊かに暮らしていた頃を思い出しました。現代において、どう暮らせば心豊かになれるのでしょうか。
- ・静かでゆっくりと楽しく見させていただきました。
- ・花札、日記などの手仕事が大変懐かしく、心ひかれるものがあった。
- ・よく調査しています。驚きました。坂井さんに関する個人的情報を私たちみんなのものにしてくれて実にありがたい。そしてその手法に脱帽です。

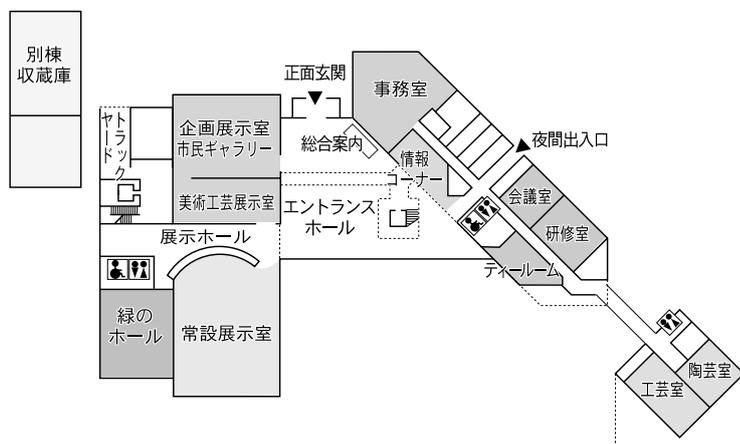
- ・写真で見るのとは違い、実物はやはり見応えがある。
- ・本当の話、5分や10分で感想など書けません。しかし、ここ美濃加茂の展覧会はいろいろ刺激を受けることは事実です。というのは、私は関の人間ですが、この製作者(坂井範一さん)に限らず、美濃加茂の人々は発想も感覚もやはり違うからです。
- ・初めて参加させていただきました。とても楽しい企画でした。又、皆さんがとてもわきあいあいでした。ありがとうございました。
- ・自然に共有して、最高の展示になりました。今夜は、虫の声も良く聴こえ、名月がはえます。ありがとうございました。
- ・夜の展示は初めてで、新鮮でした。
- ・昨日のまゆの家の作品はすばらしかった。一夜限りはもったいない。ぜひ再度展示をお願いしたい。友人を大勢誘って、感動したい!
- ・五感を刺激される展示で、良かったです。ロビーの展示の来場者の声が遮断されると良かったです。
- ・静かな雰囲気良かったです。現代美術を見直しました。
- ・展示室2の円筒形のは、すごく良かったです。視点が定まらなくて、現実感が薄れていくところが面白いと思えました。
- ・緑が多く、とてもすばらしい場所だと思います。音楽や美術に関する体験型のイベントなどを催されたら良いと思えました。
- ・美濃加茂にこんな素晴らしい施設があるのにもう少し展覧会等によってPRしていただきたいと思えます。例えば岡本太郎、かの子、座馬井邨など沢山の有名な人がみえます。常にとりあげて欲しい。

施設概要・利用案内

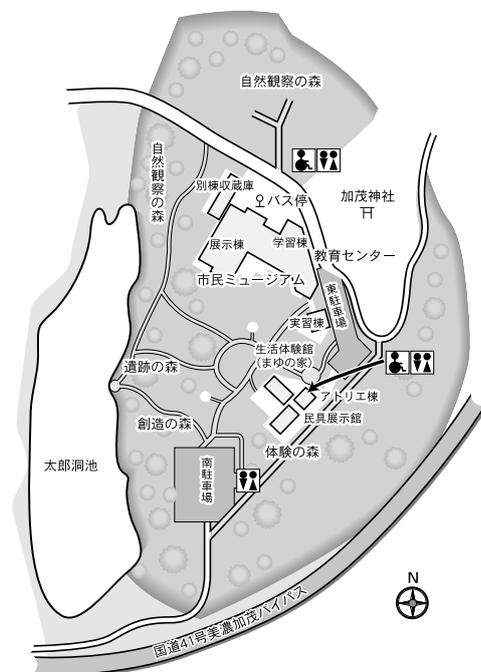
□施設概要

名 称	みのかも文化の森
所 在 地	美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 番地 1
森の面積	約 9 ヘクタール
建築概要	本体施設 「ミュージアム」と「教育センター」との複合施設 RC造、一部鉄骨・木造、地上 3 階、地下 1 階建 常設展示室 (451.71 m ²)、美術工芸展示室 (150.08 m ²)、市民ギャラリー (204.00 m ²) 延床面積 5,879.21 m ²
付帯施設	生活体験館 (211 m ²)、民具展示館 (201 m ²)、アトリエ棟 (158 m ²) 屋外トイレ…2カ所 休憩小屋…2カ所
駐 車 場	174 台 (南駐車場 110 台、東駐車場 54 台、北駐車場 10 台)

■ 本館平面図



■ フィールドマップ



開館時間 市民ミュージアムの開館時間…午前 9 時～午後 5 時

休 館 日 月曜日、及び、毎月第 4 火曜日。(ただし、祝日の場合は開館し直後の平日が休館日となります)
 年末年始。(12 月 28 日から翌年 1 月 4 日)

交 通 あい愛バス JR 美濃太田駅北口から約 8 分
 平成記念公園線 (月～金=1 日 2～3 往復)
 文化の森公園線 (土・日・祝=1 日 10 往復)

鉄 道 JR 名古屋駅から美濃太田駅まで特急で約 40 分
 美濃太田駅北口から徒歩約 17 分

自 動 車 東海環状自動車道美濃加茂 I C から約 5 分
 名神高速小牧 I C から約 35 分

□施設の使用時間及び使用申請の受付

- ・使用時間は、午前9時から午後10時までです。(一部施設を除きます)
- ・使用申請の受付は、使用される3ヶ月前から3日前までにお申し込みください。ただし、市民ギャラリー、エントランスホール、展示ホールについては、使用される6ヶ月前から15日前までにお申し込みください。
- ・受付時間は、午前9時から午後5時までです。ただし、休館日は受付いたしません。

□施設使用料

(1) 研修室等

施設 \ 使用時間	9:00 ~12:30	13:00 ~17:00	17:30 ~22:00	9:00 ~22:00	延長1時間 につき
研修室	2,470円	2,880円	2,880円	8,230円	1,230円
会議室	1,230円	1,440円	1,440円	4,110円	610円
工芸室	1,950円	2,260円	2,260円	6,470円	970円
陶芸室	1,230円	1,440円	1,440円	4,110円	610円
緑のホール	6,180円	7,000円	7,000円	20,180円	3,090円

(2) 市民ギャラリー等

施設	使用単位	基本使用 1日(9:00~17:00)	基本使用以外 (1時間につき)
市民ギャラリー	全面使用	16,480円	2,570円
	分割使用(1㎡)	65円	10円
エントランスホール	1㎡	65円	10円
展示ホール	1㎡	65円	10円

(3) 宿泊アトリエ棟等

施設 \ 使用時間	9:00 ~12:30	13:00 ~17:00	17:30 ~22:00	9:00 ~22:00	22:00 ~翌9:00
アトリエ棟2階	1,230円	1,440円	1,440円	4,110円	2,060円
アトリエ棟調理室	620円	720円	720円	2,060円	
生活体験館	1,230円	1,440円	1,440円	4,110円	

*使用者が使用するに当たり、参加者から入場料を1人につき、1,000円以上徴収する場合は、本表に定める使用料の2倍の額をお支払いいただきます。

*付属設備、及び、備品の使用料は、別途お支払いいただきます。

みのかも文化の森の沿革

1983年 3月	美濃加茂市郷土資料館建設基金条例の制定	2000年 10月	竣工式およびオープニングイベント。
1986年 8月	美濃加茂市史料調査協力員（10名）を設置		美濃加茂市民ミュージアム開館記念展Ⅰ「芸術と自然
1988年 8月	（仮称）美濃加茂市郷土資料館建設調査委員会（17名）を設置		一若林奮・大久保英治・山口啓介 美濃加茂自然環境会議2000」を開催。
1989年 3月	第3次総合計画において「文化の森」「郷土資料館」の建設が位置づけられる。		野外劇「真夏の夜の夢」（シェイクスピア作、坪内逍遙訳）を上演。市民参加の演劇を以降毎年開催。
1989年 3月	美濃加茂市美術品等収集基金条例の制定	2000年 11月	第1回「まゆの家まつり」を、文化の森のボランティアが実行委員会を結成して開催。以降毎年開催。
1989年 8月	（仮）美濃加茂市郷土資料館基本構想の提言（調査委員会を合計8回開催理念、目的、性格のほか立地場所、名称などについて提言を受ける。以後専門委員会において具体的検討を進める。）	2001年 2月	美濃加茂市民ミュージアム開館記念展Ⅳ「親子の対話 岡本一平・岡本太郎展」を開催。
1989年 8月	（仮）文化の森予定地域の植生調査（1次）	2001年 4月	第1回「春・朗読の一日」が市民による実行委員会により開催される。以降毎年開催。
1990年 3月	（仮）文化の森整備基本構想を策定（セントラルコンサルタント（株））	2001年 5月	第1回森のコンサート「ホルン五重奏」を開催。以降毎年数回、森のコンサートを開催。
1990年 4月	社会教育課に博物館建設係を設置	2001年 9月	「文字の登場、そして広まりー古代中世の人と文字をめぐってー展」を開催。
1990年 5月	（仮）文化の森構想の地元説明会開催	2001年 12月	第1回アートボランティアビデオ上映会「議事堂を梱包する」が開催される。以降ゴールデンアート劇場として毎年開催。
1991年 3月	郷土博物館展示基本計画を策定（専門委員会を合計15回開催。ほか随時専門委員の指導を得る。（株）日展）	2001年 12月	生活体験館東に体験工房（染色）が完成する。
1991年 7月	空中写真測量実施	2002年 1月	「暮らしの宝物 椎名誠写真展」を開催。以降毎年開催。
1992年 3月	（仮）文化の森基本計画策定	2002年 2月	「川崎小虎展～暖かみあふれる自然の詩情～」を開催。
1992年 4月	中央公民館内に美濃加茂市教育センターを開設	2002年 3月	『美濃加茂市民ミュージアム紀要』第1集を発行。以降毎年発行。
1992年 9月	地権者との間で「土地賃貸借契約」「物件移転補償契約」を締結	2002年 4月	従来まで文化の森所管であった美濃加茂市教育センターが学校教育課所管となる。
1992年 10月	（仮）文化の森予定地の埋蔵文化財試掘調査（～11月）（北部を除き、ほぼ全域で遺物包含層を確認）	2002年 6月	「気持ちの宝物 椎名誠写真展」を開催。
1992年 10月	（仮）文化の森予定地の樹木調査（樹種と分布状況を調査）	2002年 6月	「蚕とまゆ展」02が開催される。以降毎年開催。
1993年 3月	（仮）文化の森（全体）基本設計	2002年 7月	「発掘された尾崎遺跡ーこの地に人が残したものの一展」を開催。
1993年 12月	（仮）文化の森予定地域の植生調査（2次）	2002年 9月	「「ミノ」「カモ」の古代ー御野国戸籍から1300年ー展」を開催。
1994年 3月	（仮）文化の森（全体）実施設計	2002年 9月	「太田三郎展」を開催。
1994年 4月	埋蔵文化財（尾崎遺跡）発掘調査開始	2002年 10月	常設展示室の入場者が10万人を超える。
1994年 11月	博物館・教育センターの複合施設設計書の立案	2002年 11月	伝承料理の会により『おばあちゃんちのおかって』（第1集）を発刊。好評につき2003年12月第2集を発刊。
1995年 4月	「文化課」が新設され、文化の森準備が充実する。	2003年 2月	「色と形と冒険ー坂井範一とゆかりの作家展」を開催。
1995年 6月	（仮）文化の森自然環境影響評価調査（平成6年7月～）（植生、動物、景観、文化財、水質他）	2003年 4月	「土に残る記憶Ⅰー旧石器と縄文ー展」を開催。
1995年 8月	第8回彫刻シンポジウムを文化の森内で開催。現地制作を行い、1基を仮設置する。以後、3基設置する。	2003年 7月	「美濃加茂にサイヤゾウがいた頃展」を開催。
1996年 3月	博物館・教育センター複合施設（（仮）「文化の森プラザ」）設計の予算化	2004年 2月	「津田左右吉ーその人と時代ー展」を開催。
1996年 4月	博物館部門別展示検討委員会開催、以後7回開催（自然史、考古、歴史民俗、美術工芸）	2004年 6月	博物館法に基づく「登録博物館」に認定される。
1996年 6月	文化の森構想教育センター部会開催（以後8回開催）	2004年 7月	「まちの観察日記展」を開催。
1996年 7月	（仮）文化の森整備検討委員会（13名）開催（以後3回開催）。（市として「施設の位置づけ」「森の学校」などを提示し、それを受け具体的検討をすすめる。）	2004年 10月	「博学連携フォーラム」（市制50周年記念事業）を開催。以降、「博学連携フォーラム」として毎年開催。
1996年 11月	（仮）文化の森市民懇話会の開催（以後、市長と語る会を含め4回開催）	2004年 11月	「写真で見る美濃加茂市50年」（市制50周年記念事業）が刊行される。
1996年 12月	（仮）文化の森プラザ地質調査	2005年 2月	「情熱の人・坪内逍遙展」（市制50周年記念事業）開催。
1997年 3月	（仮）文化の森プラザ建築基本設計	2005年 7月	「のこってほしいもの・のこしたいものー今森光彦 里山物語展」を開催。
1997年 3月	（仮）文化の森プラザ展示基本設計	2005年 9月	「素材への思い-力と可能性-展」を開催。
1997年 7月	（株）日展名古屋支店	2005年 10月	サークル等による「フリーマーケット」の開催。以降、毎年開催
1997年 10月	（仮）文化の森ニュース第1号発行（10号まで、平成11年11月）	2005年 12月	「栗田宏一ー足もとの土展」を開催。
1997年 10月	「市民のための博物館」講座開催（4回、～11月）	2006年 2月	「廻国・円空ー加茂をとおりてー展」を開催。
1998年 3月	（仮）文化の森プラザ実施設計	2006年 7月	「生きる・くらすー鳥と人展」を開催。
1998年 5月	（仮）文化の森ボランティアが発足、会員11名で、主に歴史民俗の資料調査に活動をはじめ。	2006年 7月	子どもわくわくプログラム（「文化の森たんけんたい」「ふらっとクラブ」など）を開催。以降、毎年開催。
1998年 6月	（仮）文化の森プラザ新築工事契約	2006年 10月	展示ガイドボランティア企画展示「ちいさな展覧会「円空」を開催。以降、毎年展示ボランティア企画の展示を開催。
1998年 7月	（仮）文化の森プラザ起工式（7月15日）	2006年 12月	「いつもそばにカメラがあった展」を開催。
1998年 9月	（仮）文化の森プラザ展示工事契約	2007年 2月	「花をみるー鳥を描くー大矢峻嶺展」を開催。
1998年 10月	「ミュージアム自由自在」講座開催（3回、～11月）	2007年 7月	「美・粒子展ー酒向絵美+渡邊太郎」を開催。
1999年 1月	ホームページ上に、「今週の文化の森」として、工事の進捗状況、準備状況を報告、公開	2007年 9月	「Critical Point 50≒0 小島久弥展」を開催。
1999年 1月	市職員による「文化の森運営検討ワーキング」開催（2回）	2007年 12月	「逍遙とシェイクスピア～世界はすべて劇場である～展」を開催。
1999年 1月	美濃加茂市自然史研究会が発足。自然調査活動をすすめる。	2008年 2月	「岐阜縣二人展ー松本竣介・麻生三郎」を開催。
1999年 3月	（仮）文化の森付帯施設工事実施設計	2008年 4月	「土に残る記憶Ⅵー中世びとの世界ー展」を開催。
1999年 3月	リーフレット「文化の森もうすぐぐまれます」発行	2008年 6月	「徳苺三寿雄・貞雄写真展」を開催。
1999年 3月	『みのかも文化の森活用の手引き』第1集発行	2008年 7月	「暮らしを彩る明治の「刷り物」展ー半原版画館コレクションからー」を開催。
1999年 8月	（仮）文化の森付帯施設工事着工	2008年 8月	「子どもわくわく文化の森展」を開催。
1999年 8月	設置管理条例（名称を「みのかも文化の森」「美濃加茂市民ミュージアム」「美濃加茂市教育センター」とする。）制定	2008年 9月	「凶鑑庭園 The Garden of the Name 渡辺英司展」を開催。
2000年 3月	工事了（本体建築、電気、管空調、展示、付帯施設）	2008年 12月	「蜂屋柿ーその歴史と人々」を開催。
2000年 3月	『みのかも文化の森活用の手引き』第2集発行	2009年 2月	「逍遙と『早稲田文学』展」（美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業）開催
2000年 5月	文化の森ボランティアを募集	2009年 2月	「星野道夫展「星のような物語」ー学校向け写真展ー」を開催。
2000年 9月	コンピュータ機器の設置		

みのかも文化の森 年報 Vol.10 2009 年度

2011 年 3 月 31 日

編集・発行 美濃加茂市市民協働部文化振興課

〒505-0004

岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1

電話 0574-28-1110

FAX 0574-28-1104

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

印刷 永田印刷